



東海・北陸地区

TEL: 052-788-6053、6054
<http://www.sssj.jimu.nagoya-u.ac.jp/>

北海道地区

TEL: 011-706-2019
<https://www.hokudai.ac.jp/jimuk/soumubu/jinjika/saiyo/>

東北地区

TEL: 022-217-5676
<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/shiken/>

関東甲信越地区

TEL: 03-5841-2769、2770
<http://ssj.adm.u-tokyo.ac.jp/>

近畿地区

TEL: 075-753-2230
<https://kinki-ssj.adm.kyoto-u.ac.jp/>

中国・四国地区

TEL: 082-424-5616
<https://home.hiroshima-u.ac.jp/jinji/shiken/>

九州地区

TEL: 092-802-2340
<https://www-shiken.jimu.kyushu-u.ac.jp/>

WORK GUIDE BOOK

東海・北陸地区 国立大学法人等職員業務案内

学びの力と地域を育む



編集・発行

東海・北陸地区国立大学法人等職員採用試験実施委員会 職員採用試験事務室
 〒464-8601 名古屋市千種区不老町 名古屋大学総務部内 TEL: 052-788-6053、6054

総合案内パンフレット

2020

目次

国立大学法人等とは
国立大学法人等職員採用試験について … 01
機関全体図

職員採用試験Q&A …………… 03

国立大学法人等の組織と業務 ………05

職員の声 …………… 07

勤務条件及び福利厚生について …… 14

研修体験談 …………… 15

キャリアプロセス …………… 17

育休取得体験談・転職体験談 …… 19

職員アンケート …………… 20

機関の紹介 …………… 23



国立大学法人等とは

国立大学法人等は、「国立大学法人」「大学共同利用機関法人」「独立行政法人国立高等専門学校機構」及び「独立行政法人国立青少年教育振興機構」により構成されます。

いずれの機関も、高度な教育研究活動や人材育成等を通じ、地域や世界の発展と未来の創造に貢献することをミッションとしています。

国立大学法人等の職員は、多様な業務活動を通じて国立大学等を支え、地域や世界の未来を育む魅力的な仕事です。



国立大学法人

国が財政的に責任を持つ独立行政法人の枠組みを基に、自主性・自律性をもって国立大学を運営するための法人制度です。

各大学では、独自の理念・目標を掲げ、教育・研究の質の向上や個性豊かで魅力ある大学運営に取り組んでいます。

東海・北陸地区には、12の国立大学があります。

- 01 富山大学
- 02 金沢大学
- 03 北陸先端科学技術大学院大学
- 04 福井大学
- 05 東海国立大学機構 岐阜大学
- 06 静岡大学
- 07 浜松医科大学
- 08 東海国立大学機構 名古屋大学
- 09 愛知教育大学
- 10 名古屋工業大学
- 11 豊橋技術科学大学
- 12 三重大学

大学共同利用機関法人

個別の大学では整備や維持が困難な、最先端の大型設備や膨大な学術資料・データを国内外の研究者に提供し、大学の枠を超えた共同研究を推進する我が国の中核的研究拠点です。

東海・北陸地区には、「情報・システム研究機構」及び「自然科学研究機構」が、静岡、岐阜、愛知の各県にあります。

- 13 情報・システム研究機構 国立遺伝学研究所
- 14 自然科学研究機構 核融合科学研究所
- 15 自然科学研究機構 基礎生物学研究所
- 16 自然科学研究機構 生理学研究所
- 17 自然科学研究機構 分子科学研究所
- 18 自然科学研究機構 岡崎統合事務センター



機関全体図



独立行政法人国立高等専門学校機構

社会が必要とする時代にふさわしい実践的技術者を養成するため、中学校の卒業生を受け入れ、5年間（商船高専は5年半）の一貫教育を行う高等教育機関です。

東海・北陸地区には、8校の国立高等専門学校があります。

- 18 富山高等専門学校
- 19 石川工業高等専門学校
- 20 福井工業高等専門学校
- 21 岐阜工業高等専門学校
- 22 沼津工業高等専門学校
- 23 豊田工業高等専門学校
- 24 鳥羽商船高等専門学校
- 25 鈴鹿工業高等専門学校



独立行政法人国立青少年教育振興機構

我が国の青少年教育のナショナルセンターとして、青少年を巡る様々な課題へ対応するため、青少年に対し教育的な観点から、より総合的・体系的な一貫性のある体験活動等の機会を提供するとともに、研修支援、青少年教育に関する調査研究、青少年団体・施設等の連絡・協力、青少年団体への助成を行い、もって我が国の青少年教育の振興及び青少年の健全育成を図ることを目指しています。

東海・北陸地区には、富山、石川、福井、岐阜、静岡の各県に施設があります。

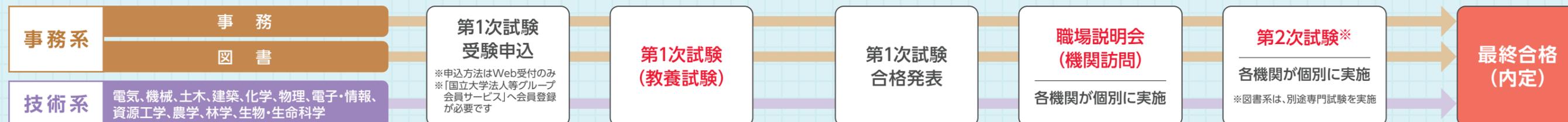
(注)本採用試験から直接の採用は行っていません。

- 26 国立立山青少年自然の家
- 27 国立能登青少年交流の家
- 28 国立若狭湾青少年自然の家
- 29 国立乗鞍青少年交流の家
- 30 国立中央青少年交流の家

国立大学法人等職員採用試験について

採用試験に関する最新情報はWEBサイトでご確認ください。 <http://www.sssj.jimu.nagoya-u.ac.jp/index.html>

国立大学法人等の職員は、国立大学法人等職員採用試験合格者から採用しています。採用試験は、全国を7つのブロックに分けて実施しています。東海・北陸地区の機関に就職することを希望する方は、東海・北陸地区で実施する採用試験を受験してください。



※採用予定がない試験区分については、試験を実施しません。

職員採用試験 Q&A

試験全般に関すること

- Q** 東海・北陸地区での採用を希望していますが、東海・北陸地区以外で受験することはできますか？
- A** できません。採用は各地区で行っていますので、東海・北陸地区の国立大学法人等機関（以下、「機関」とします）への就職を希望する場合は、東海・北陸地区で実施される職員採用試験を受験してください。
- Q** 東海・北陸地区以外でも同様の試験が行われますが、複数の地区を受験できますか？
- A** 採用試験は全国を7地区に分けて、同一日程、同一試験問題で実施されますので、いずれか1つの地区しか受験できません。
- Q** 日本国籍がなくても受験できますか？
- A** 国籍は問いませんが、永住者等日本国内における活動に制限のない在留資格を有する方が受験対象となります。
- Q** 大学を卒業していなければ受験できませんか？
- A** 大学を卒業していなくても受験できます。試験問題のレベルは大学卒業程度ですが、学歴や資格の有無は一切問いません。
- Q** 試験区分「図書」を希望していますが、司書資格や専門知識は必要ですか？
- A** 資格については、必要ありません。ただし、第1次試験合格者に対して実施される図書系専門試験（筆記試験）を受ける必要があります。詳しくは、図書系専門試験ホームページをご覧ください。<http://saiyo.nul.nagoya-u.ac.jp/>
- Q** 既卒者（有職者等）ですが、受験にあたって不利になりませんか？
- A** 第2次試験において、採用候補者を総合的に判断して採否を決定しますので、既卒者だからといって不利ということはありません。
- Q** 私立大学出身者より国立大学出身者のほうが有利になることはありませんか？
- A** 出身大学が合否に影響することはありません。現に私立大学出身者も多数採用されており、法人職員として働いています。
- Q** 採用予定数を教えてください。
- A** 東海・北陸地区国立大学法人等職員採用試験実施委員会ホームページに掲載しています。なお、採用予定のない試験区分は、試験を実施しませんのでご注意ください。また、採用予定数は各機関の事情により変更になる場合もありますので、随時確認してください。

第1次試験に関すること

- Q** 受験申込みの方法を教えてください。
- A** Webでのみ受験申込みを受け付けます。郵送や持参による申込みは一切受け付けませんので、ご注意ください。
- Q** 第1次試験地は選べますか？
- A** 選べます。受験申込みの際、富山市、金沢市、福井市、岐阜市、静岡市、名古屋、津市の中から希望する試験地の第一希望、第二希望を選択してください。
- Q** 試験問題の持ち帰りはできますか？ また、受験後に正答番号は教えてもらえますか？
- A** 試験問題について、受験者は持ち帰ることができません。また、正答番号についても公表していません。
- Q** 過去の試験問題は公表していますか？
- A** 公表していません。ただし、第1次試験の例題はホームページ上で公表していますので、参考にしてください。
- Q** 障がいをもっていますが、受験する時に特別な措置を受けられますか？
- A** 個々の障がいや怪我の程度に応じて、できるだけ配慮を行っています。具体的な措置としては、拡大文字による試験、試験時間の延長等がありますので、受験申込み前に当実施委員会職員採用試験事務室までお問い合わせください。
- Q** 理工系大学の学生が、試験区分「事務」を受験する場合、不利なことはありませんか？
- A** ありません。いずれの試験区分で受験するかは、受験者自身の判断によります。
- Q** 第1次試験では、スーツを着用しないといけませんか？
- A** 受験しやすい服装で構いません。
- Q** 第1次試験合格者発表はどのように行われますか？
- A** 合格者受験番号一覧をホームページ上に掲載します。また、合格者には合格通知をメール送信します。なお、電話による合否のお問い合わせには一切応じられませんので、ご注意ください。

気になる疑問を解決！

※受験にあたっては、必ず「令和2年度東海・北陸地区国立大学法人等職員採用試験案内」をご確認ください。

職場説明会（機関訪問）に関すること

- Q** 職場説明会（機関訪問）とは何ですか？
- A** 採用予定のある機関を直接訪問し、機関について詳しく知る機会を得ることです。内容は機関により様々ですが、機関の概要や業務の説明、職場見学などが行われる場合が多いです。それぞれの機関の業務内容や職場の雰囲気を知ることができますので積極的に参加してください。
- Q** 職場説明会（機関訪問）の開催時期・参加方法を教えてください。
- A** 職場説明会（機関訪問）の開催は第1次試験実施以降です。主に第1次試験合格発表後に行われます。具体的な日程や参加方法は、決まり次第各機関のホームページに掲載されますので確認してください。

第2次試験に関すること

- Q** 各機関で実施する第2次試験は、1つの機関しか受けられないのですか？
- A** 日程が重ならない限り、複数の機関を受験できます。ただし、採用内定に応じられるのは1機関のみです。
- Q** 第2次試験結果に対する「応諾」とは何ですか？
- A** 第2次試験を受験した機関から、内定の連絡を受けて、当該機関への就職を承諾することです。第2次試験は、複数の機関を受験できますが、応諾できるのは1機関のみです。いったん内定を応諾したら、それ以降、他の機関の第2次試験を受験することはできません。応諾にあたっては、辞退することのないよう慎重に判断してください。また、既に受験済みの他の機関には、選考を辞退する旨連絡してください。
- Q** ある機関から内定の連絡があったのですが、自分が強く志望する機関ではなかったため辞退しようと思います。一度断ると、もうどこからも連絡が来なくなってしまいますか？
- A** 1つの機関の内定を辞退したことによって、他の機関から連絡が来なくなることはありませんので、自分の志望、勤務地などを考えて応諾するかどうかを決めてください。
- Q** 複数の機関の第2次試験を受けたのですが、最初に内定のあった機関に就職しなければいけないのですか？
- A** 内定のあった機関に、他機関の第2次試験を受けたい旨を説明して、内定応諾の返事を待ってもらえるのであれば、直ちに決める必要はありません。
- Q** 複数の機関の内定を応諾し、そこから就職先を選択してもいいのですか？
- A** 複数の機関の内定を応諾することはできません。

採用に関すること

- Q** 第1次試験に合格したら必ず採用されますか？
- A** 各機関が実施する第2次試験に合格しなければ、採用となりません。
- Q** 採用の時期はいつですか？
- A** 採用内定者の意向、各機関の欠員状況等によって異なります。概ね翌年の4月1日となりますが、既卒者はそれ以前に採用されることもあります。
- Q** 採用の機会はいつまであるのでしょうか？
- A** 機関の欠員状況によって、第1次試験合格者名簿の有効期間内は採用される可能性があります。
- Q** 大学院卒か学部卒かで、あるいは出身学部で、採用や従事できる職種に違いはありますか？
- A** 最終学歴や出身学部によって、採用や従事できる職種の違いはありません。
- Q** 採用後、別の機関に移りたいと思った場合、転籍は可能ですか？
- A** 基本的に不可能です。特別な事情がある場合で、志望機関に欠員等があれば異動が可能な場合もあります。



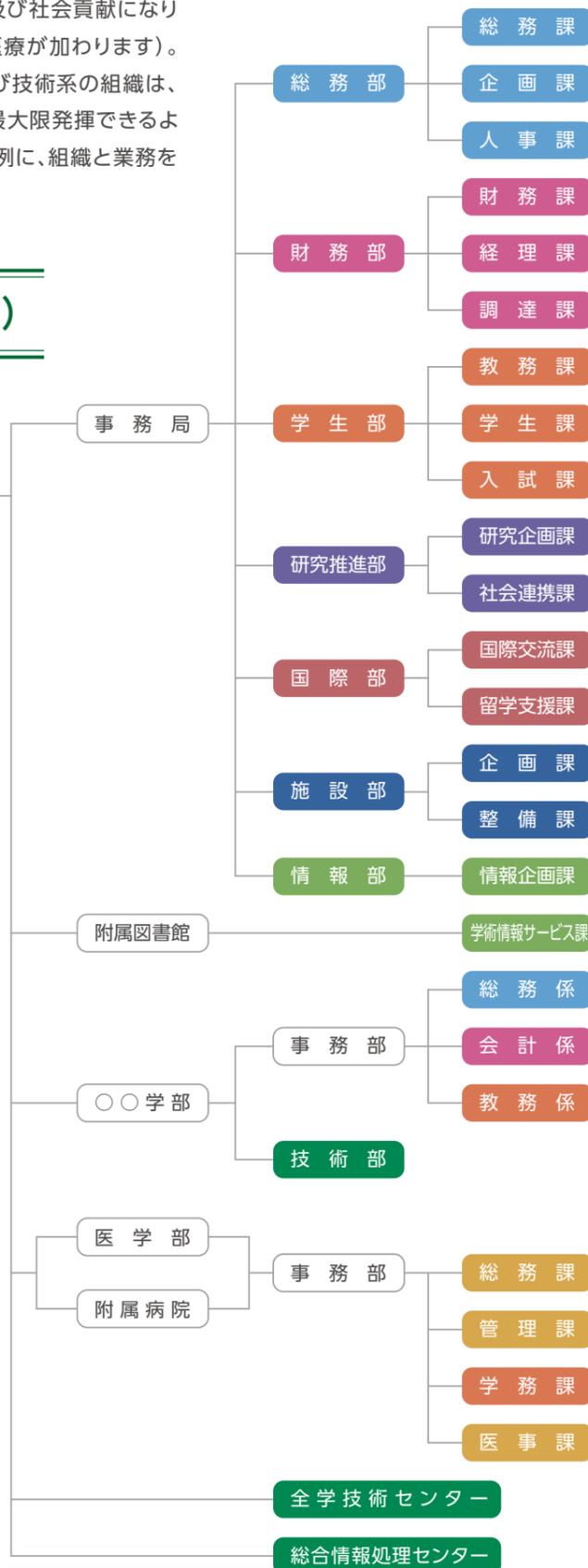
国立大学法人等の組織と業務

国立大学法人等の主な役割は、教育、研究及び社会貢献になります(附属病院を有する大学では、この他に医療が加わります)。そのため、国立大学法人等を支える事務系及び技術系の組織は、教育、研究、社会貢献(及び医療)の各機能が最大限発揮できるように整備されています。ここでは、国立大学を例に、組織と業務を紹介します。

国立大学法人の組織(例)

役員会

学 長 理事・副学長



国立大学法人職員の業務概要

【試験区分】事務

総務企画	総務	●総務 ●役員会等重要会議の企画・運営 ●広報 ●式典・行事 ●情報公開 ●規則の制定・管理 ●危機管理
	企画・評価	●将来計画、大学改革 ●中期目標・中期計画、年度計画 ●評価
	人事	●採用・昇任等人事管理 ●勤務時間管理 ●給与・諸手当 ●研修 ●労務管理、安全管理 ●福利厚生

財務経営	財務	●予算の編成・配分・管理 ●決算 ●財務分析 ●国への概算要求 ●資金運用
	経理	●授業料等の収納 ●支出金の支払い ●旅費計算 ●債権管理
	契約	●教育研究物品等の発注調達(入札、契約)

教務・学生支援	教務	●カリキュラム編成 ●学籍情報の管理 ●成績管理 ●履修指導 ●教育改革・教育方法の改善支援
	学生支援	●学生相談、生活指導 ●就職支援 ●課外活動支援 ●経済支援(奨学金、授業料免除)
	入試	●入学試験 ●入試方法の改善 ●入試広報、学生募集 ●高大連携 ●オープンキャンパス

研究協力	研究推進	●研究戦略の企画 ●競争的資金獲得支援 ●研究不正防止・研究倫理教育
	社会連携	●産学官連携支援 ●共同研究・受託研究契約 ●知的財産 ●地域連携 ●公開講座

国際交流	国際交流	●海外の大学等との学術交流、協定締結 ●外国人研究者の受入れ ●研究者の海外派遣 ●国際戦略の企画
	留学支援	●外国人留学生の受入れ ●外国人留学生の修学・生活支援 ●学生の留学支援

医療支援	総務	●附属病院の総務 ●重要会議の企画・運営 ●将来計画 ●地域医療連携支援 ●危機管理
	人事	●人事・労務管理(医師・看護師・技師等) ●医療人材育成 ●医療安全
	経営管理	●病院経営管理(経営分析、経営改善) ●医薬品等の発注調達
	医療サービス	●診療報酬請求 ●外来診療、入退院窓口 ●医療相談 ●医療情報管理 ●料金収納 ●診療債権管理

【試験区分】図書

図書	学術情報サービス	●図書館資料の選定、発注、契約、受入 ●目録データ作成 ●資料の装備、製本、修理 ●図書館利用サービス ●電子情報サービスの管理・運用
----	----------	---

【試験区分】電気、機械、土木、建築

施設	企画・整備	●施設整備に関する企画立案 ●施設的设计・施工監理・検査 ●施設の維持保全 ●エネルギー計画 ●キャンパス環境保全、監理 ●工事・役務契約
----	-------	---

【試験区分】電気、機械、土木、建築、化学、物理、電子・情報、資源工学、農学、林学、生物・生命科学

教育研究支援	技術支援	●各種実験データの測定・処理・分析 ●学生の実験・実習指導 ●研究・実験用機器の開発・設計・管理・運用 ●機器操作方法等の技術指導
--------	------	---



総務企画



中澤 利之 Nakazawa Toshiyuki

所属：三重大学
企画総務部 総務チーム

採用年度：平成24年度
試験区分：事務

ある一日のスケジュール



- A.1** 役員会・経営協議会・教育研究評議会など大学全体の運営に係る会議、入学式・学位記授与式、学外との連絡、法人文書の管理などの業務を行っています。大学の窓口となる部署で、役員や学内の多くの部署と関わりを持ち、大学全体の概観をつかむことができます。
- A.2** 大学執行部と一番近いところで業務をするため、ダイレクトに大学の方向性が伝わってきます。役員の思いや考えが迅速にかつ正確に伝わるよう心がけています。
- A.3** 東海・北陸地区の国立大学の学長が一堂に会する学長会議が特に印象に残っています。伊勢志摩サミットが開催された場所で開催し、会議が円滑に進むよう準備をし、各大学の学長・文科省の職員等をアテンドしました。国立大学の将来像について熱く議論されたことを覚えています。
- A.4** 大学の業務は教育・研究・医療など非常に広範囲で、職員の業務も想像以上に多岐にわたります。大学は人を育て、社会を成長させる重要な場所です。そんな場所で皆さんと一緒に働くことができる日を楽しみにしています。



教務・学生支援



楠 千紗 Kusunoki Chisa

所属：北陸先端科学技術大学院大学
学務部 学生・留学生支援課 学生生活係

採用年度：平成24年度
試験区分：事務

ある一日のスケジュール



- A.1** 奨学金、学費免除、学生寮、課外活動団体、健康診断など学生の生活面をサポートする部署に所属しています。私の主な業務として、学生寮の入居者募集、入退去時の手続対応、寮の備品の管理、課外活動団体の認定手続を担当しています。
- A.2** 毎日多くの学生と接しますが、初心を忘れず、ひとりひとりに丁寧な対応をするよう心がけています。
- A.3** 4月の入学時期には入学式、新入生オリエンテーション、入寮手続、健康診断など様々なイベントがあり、3月頃からはその準備で忙しい日々が続きます。無事に入学式を迎えられると安心すると共に、新生活への期待に満ちた学生さんの様子を見て、私自身も新鮮な気持ちになりました。入学や卒業といった学生さんの人生の節目に立ち会うことができるのは、大学職員の魅力だと思います。
- A.4** 人と接するのが好きな方、誰かの役に立ちたい方にとって、大学職員はとてもやりがいを感じられる仕事だと思います。また、数年ごとに部署異動があるため、様々な業務を経験することができます。部署が変わると、新しい仕事に挑戦できる面白さがありますし、大学に関する知識が増え、自分自身の成長も感じられます。皆さんと一緒に働くことができる日を楽しみにしています。



財務経営



長元 良介 Nagamoto Ryosuke

所属：富山大学
財務部 経理課 契約チーム

採用年度：平成29年度
試験区分：事務

ある一日のスケジュール



- A.1** 大学全般における専門的な技術や資格を必要とする作業の委託契約を行っています。例えば、学内の各部署から出される宅配便の一括運送業務契約や粗大ゴミの回収業務契約などが主な担当です。依頼がある部署の様々な要望を取りまとめたり、作業場所の下見として業者と一緒に構内を回ったりすることもあります。また、大学の水道光熱費・通信費の支払処理も行っており、電気や水道などの利用量も毎月確認しています。
- A.2** 契約業務が円滑に進むように、依頼があった部署の意見をしっかりと吸い上げ、細かく業者に伝えることを心がけています。
- A.3** 入札業務を初めて担当した時です。入札を行うまでの間に用意すべき書類や手続きなど様々な準備をしました。入札参加希望の業者に渡す書類の作成や予定する契約金額の算出など目まぐるしい日々が続きました。時には残業することもありましたが、無事に落札して契約相手先が決まった時は、これまでにない達成感と安堵感を得たことが印象深いです。
- A.4** 大学職員と聞くと、学生さんや先生方と接する仕事だと思われるかもしれませんが、私のように学外の人と関わる業務を中心とする者もいます。最近では地域のことを考えた取り組みも求められ、部署によっては民間目線も時として必要です。私は民間企業から転職しましたが、そこに負けず劣らず自分を試せる機会が多いと感じています。皆さんの挑戦したい想いを大学職員として生かしませんか?ぜひ一緒に働きましょう!



研究協力



山田 祐実 Yamada Yumi

所属：福井大学
総務部 松岡キャンパス運営管理課

採用年度：平成31年度
試験区分：事務

ある一日のスケジュール



- A.1** 医学部における研究支援業務を行っています。主に科学研究費助成事業(科研費)を担当しており、応募から成果報告までの各種書類の確認や入金・送金に関する手続き、研究者・講座の事務担当者からの問い合わせ対応などを行っています。また、教員・事務担当者対象の説明会の実施や学内及び学外講師による個別指導の企画・運営を行っており、科研費の採択率向上に努めています。
- A.2** 間接的ではありますが、社会に役立つ研究に一員として関わることができるという点が魅力だと思います。
- A.3** 採用されてすぐに行った科研費の交付申請書の確認業務が印象に残っています。科研費に関する知識がゼロの状態だったので、科研費ハンドブックなどから知識を得ながら研究者が作成した申請書を添削しました。100件近くの申請書を添削することは大変ではありましたが、研究者から「念入りにチェックしてくださりありがとうございます」とお礼の言葉をいただいた時は嬉しかったです。
- A.4** 大学職員の業務は多岐にわたっており、日々学び続ける大変さもありますが、様々な知識や技術を得ることで、自分の可能性を広げることができる職場だと思います。学生支援がしたい、研究支援がしたい等皆さんのそれぞれの志望理由があると思いますが、ひとつの分野にこだわらず色々なことにチャレンジしてほしいです。皆さんと一緒に仕事ができる日を楽しみにしています!





Q.1 現在の仕事内容を教えてください。 **Q.2** この業務の魅力や仕事の上で心がけていることは何ですか？ **Q.3** 印象に残っている業務を教えてください。 **Q.4** 国立大学法人等職員を志す皆さんへのメッセージをお願いします。

国際交流

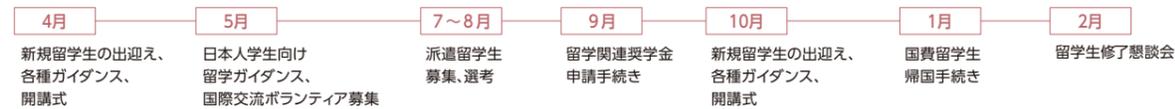


中谷 千咲 Nakatani Chisaki

所属：愛知教育大学
学生・国際課 国際交流室
採用年度：平成30年度
試験区分：事務



一年のスケジュール



- A.1** 海外からの留学生と、留学を希望する日本人学生の支援を担当しています。主な業務内容は、国や民間団体から支給される奨学金の手続きや、各種留学プログラムの実施補助、学生同士の異文化交流イベントのサポートなどです。学生が留学したり外国人と交流したりすることで成長する様子を、間近で感じられる仕事だと思います。
- A.2** 様々な国の留学生と関わり多様な文化に触れることができる反面、意思疎通が難しい面もあるので、学生一人ひとりに合った的確な対応を心がけています。
- A.3** 海外への短期留学プログラムの引率です。準備段階からプログラムの企画に深く関わるので業務は長期にわたりますが、学生の海外経験を近くでサポートすることができとてもやりがいを感じます。また自分自身、海外の大学職員の方とお話できる機会もあり、他国の視点から自分の仕事について考える貴重な体験をすることができました。
- A.4** 大学には学生や外部の目線からは見えない様々な業務があります。各部署で多種多様な経験を積み、学内外問わず多くの方と一緒に働けることが大学職員の魅力です。人の役に立てると同時に自分も成長できるような仕事に就きたい方は、ぜひチャレンジしてみてください。



図書



石川 志愛里 Ishikawa Shieri

所属：名古屋大学
附属図書館 情報サービス課 医学情報係
採用年度：平成29年度
試験区分：図書



ある一日のスケジュール



- A.1** カウンターに出て図書の貸出・返却処理を行ったり、学生や教職員の皆様の研究・調査の手伝いをしています。その際、自館にない資料を他の図書館から取り寄せたり、逆にこちらの資料を他機関へ提供するサービスも担当しています。また、講習会を開催して、論文の探し方やデータベースの使い方を講義したり、Webサイト・一部SNSの管理なども仕事のひとつです。
- A.2** 大学で行われている様々な研究を、身近でサポートできる点が魅力です。なるべくひとりひとりに丁寧で均一な対応を心がけています。
- A.3** 所蔵している資料が重要文化財に指定された際、広報室と連携して、記者発表の企画運営やパンフレット作成に携わりました。図書館の仕事は一見地味と思われがちですが、地域や社会と繋がりが深い部署でもあります。自分の関わった仕事が大学を飛び出して、社会に広く知ってもらえることがあると実感した貴重な体験でした。皆さんの思っている以上に、大学職員は様々な経験ができる仕事だと思います。
- A.4** 図書館に限らず、大学を取り巻く環境は日々変化しています。その分、皆さんの「得意なこと」を生かして活躍できるチャンスがたくさんあると思います。「やってみよう」と思ったことには積極的にチャレンジしていける職場です。一生懸命取り組んだ結果、学生や教職員の皆様から「助かった」「ありがとう」と言われたときは、とてもやりがいを感じます。皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています。



医療支援



中野 佑里佳 Nakano Yurika

所属：金沢大学
病院部 医事課 収入管理係
採用年度：平成30年度
試験区分：事務



ある一日のスケジュール



- A.1** 患者さんから支払われたお金の確認や管理を行っています。主に、未払いとなっている診療費の回収業務を担当しています。具体的には、未払いのある患者さんに書面や電話で通知したり、様々な理由で一括では支払えないという患者さんに対しては、今後の支払いの予定について相談をし、ともに支払いの計画を立てることもあります。
- A.2** 患者さんの話をしっかりと聞いて、誠実で丁寧な対応をするように心がけています。
- A.3** 入院患者さんの中には、病室から支払窓口まで歩いて行くのが難しいという方もいらっしゃいます。そういった場合に、病室まで入院費を直接受け取りに伺うことがあります。初めてその対応をした時には緊張のため事務的な対応をしてしまいましたが、何度か対応するうちに、笑顔で対応することができるようになり、患者さんから何度も「ありがとう」と言ってもらえたことが、とても嬉しく、印象に残っています。
- A.4** 大学職員の仕事と聞くと、まず学生や教授と関わることを想像されるかと思いますが、私自身、配属が発表されたときには、医療の知識が全くないため不安でいっぱいでしたが、仕事をしていく内に、患者さんからの質問にも答えられるようになりました。大学職員は、様々な業務に触れることができ、自分自身の成長を日々感じることができる仕事だと思います。皆さんと働ける日を楽しみにしています。



図書館紹介 名古屋大学編

名古屋大学附属図書館は、中央図書館、医学部分館、部局図書室のそれぞれの特性を生かし、学内外の組織とも連携し、学生、教職員及び社会のニーズに応える先進的な利用者サービスを実施しています。



貴重書を所蔵

国の重要文化財に指定された「高木家文書」を始め、「伊藤圭介文庫」、「水田文庫」等の貴重書を所蔵しています。また、貴重書の電子化や学内で生産された電子的な研究成果の発信を行っています。



ラーニング・commons

ラーニング・commonsは、自律的な学習を支援し、知識の創造を促す、図書館の新しい学習空間です。ここでは、会話のできる学習環境、IT利用環境、留学生向け情報、講習会、サポートスタッフによる学習支援、学生生活相談等のピア・サポートを提供しています。



◆蔵書数 平成31年4月1日現在

	和書	洋書	合計	所蔵雑誌種類数
中央図書館	699,033	528,846	1,227,879	17,787
医学部分館	115,211	88,654	203,865	5,825
部局図書室	991,439	914,348	1,905,787	31,227
合計	1,805,683	1,531,848	3,337,531	54,839

◆利用状況(中央図書館) 平成30年度

入館者数	閲覧業務		参考調査業務	相互利用業務
	貸出者数	貸出冊数	取扱件数	取扱件数
763,319	84,617	181,795	2,155	47,316



Q.1 現在の仕事内容を教えてください。 **Q.2** この業務の魅力や仕事の上で心がけていることは何ですか？ **Q.3** 印象に残っている業務を教えてください。 **Q.4** 国立大学法人等職員を志す皆さんへのメッセージをお願いします。

施設系技術



池田 彩佳 Ikeda Ayaka

所属：静岡大学
財務施設部 施設課 浜松施設係
採用年度：平成26年度
試験区分：建築

ある一日のスケジュール



- A.1** 学内建物の新営・改修・維持保全・修繕工事の業務に携わっています。専門分野は建築ですが、現在の係では電気設備や機械設備に関する修繕依頼にも対応しています。工事発注に伴う設計・積算も行いますが、主な業務内容は修繕対応や工事監理を行っています。原因を特定するための現場調査を行い、状況に合わせた適切な修繕方法を検討して工事発注する業務や、工事監理を通して、大学の基盤となるキャンパスを支えています。
- A.2** 最先端の教育・研究の基盤づくりに携わる仕事に誇りと責任感を持ち、迅速な対応と、より魅力的なキャンパス環境を提供できるよう心がけています。
- A.3** 今まで研究棟や図書館等の工事監理を担当しましたが、迅速で適切な判断力・指導力、創意工夫が求められ、改めて自分の知識不足を実感しました。教職員や施工者と共により良いものを作るために検討を重ね、建物が日々かたちになっていく感動やワクワク感、無事に竣工した時の達成感がやりがいとなっています。
- A.4** 施設系職員の仕事は、建物の計画・設計・工事監理・維持管理・改修・解体まで施設整備に幅広く携わることができ、様々な業務を経験することで成長できる環境も魅力だと感じています。私自身もそうですが、自分の興味のある分野で技術力を武器に働ける環境はとても充実していると思います。トラブルも発生して臨機応変な対応が求められますが、経験豊富な上司や先輩方にご指導いただき、経験を積みながら業務に取り組むことができる職場です。



大学共同利用機関法人

研究協力



鈴木 崇之 Suzuki Takayuki

所属：自然科学研究機構 核融合科学研究所
管理部研究支援課 研究支援係
採用年度：平成19年度
試験区分：事務

一年のスケジュール

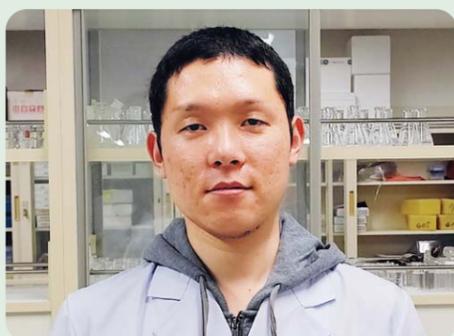


※年間を通じて、所内外の研究者からの問い合わせに対応しています。

- A.1** 研究支援係は、科研費をはじめとする外部資金獲得や研究所で行っている共同研究の事務手続き、特許などの知的財産管理や産学官連携への取り組み、各種委員会の準備など業務は多岐にわたっています。当然、一人で対応することはできないので、係内で業務分担を行い、協力して業務を円滑に遂行しています。
- A.2** 研究者の研究に支障が出ないよう、できる限り迅速に対応することを心がけています。
- A.3** 特許取得に向けて発明相談から携わった案件が、特許庁への特許出願、審査請求を経て、特許登録され、特許証が届いたときには達成感がありました。ただ、外部資金を獲得するためには、特許取得がゴールではなく、技術が有効活用される必要があるため、研究成果の展示・発表を行うイベントに出展するなどPR活動も行っています。
- A.4** 国立大学法人等職員は、配属される分野によって様々な知識が要求され、多くの経験が積める挑戦がいのある仕事です。一口に国立大学法人等といっても、各機関によって強みとなる研究や分野が異なるため、情報収集や機関訪問を通して、働きたい職場を見つけてください。



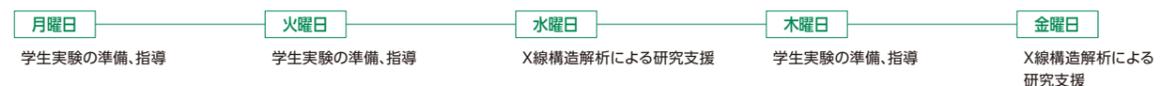
教育研究支援系技術



丸山 淑史 Maruyama Toshifumi

所属：岐阜大学
工学部ものづくり技術教育支援センター
採用年度：平成19年度
試験区分：化学

ある一週間のスケジュール



- A.1** 主に化学系学科2年生対象の学生実験及び3年生対象の学生実験の器具や試薬の準備、実験中の指導を行っています。実験中に故障した実験器具の修理や実験廃液の処理も行います。その他、X線回折装置を用いて単結晶から分子構造を導くX線構造解析も行っています。学内の先生のみならず、学外の先生から解析の依頼をいただくこともあります。
- A.2** 学生実験では手取り足取り教えるのではなく、学生自身が考えて答えを導き出せるように、手掛かりになるような助言をしてアシストに徹するようにしています。
- A.3** 学生実験の指導です。毎年指導していますが、学生の個性は千差万別なので、同じアドバイスをしても皆が同じように理解できるとは限りません。実験中、躓いている学生には理解できていない部分を聞き出して、そこを乗り越えられるように、考えてアドバイスしています。苦勞するところではありますが、面白いところでもあります。
- A.4** 技術職員は学生実験の指導や研究支援で学生と関わることも多いです。学生が成長していく過程を間近で見ることができ、学生が卒業するときには感慨深いものがあります。これは大学という教育機関での仕事ならではのことで、この仕事の魅力的な部分だと思っています。



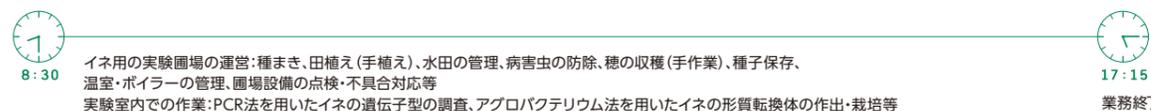
教育研究支援系技術



柏原 美紗子 Kashihara Misako

所属：情報・システム研究機構 国立遺伝学研究所
技術課(配属：植物育成・開発支援部門)
採用年度：平成30年度
試験区分：農学

ある一日のスケジュール



- A.1** 遺伝研は、テニスコート約4面分の水田と、用途別の6つの温室を有しています。私の主な業務は、これら水田と温室の管理です。研究者が円滑にイネの研究を行えるよう、栽培環境を整えています。分子生物学的手法を用いた実験や、形質転換させたイネの塩基配列の解析にも取り組んでいます。また、所全体に係る作業環境測定や遺伝子組換え実験申請に関する書類の手続きを、先輩職員の指導のもと行っています。
- A.2** 数が多い種まきや収穫中は作業に没頭していますが、人と接する際は丁寧な対応を心がけています。
- A.3** 採用1年目に初めての業務に追われていた毎日が印象に残っています。遺伝研の技術職員は、それぞれ異なる研究室や部門に在室しているため、自ら教職員や取引先の方に確認を取ったり、他部門の先輩にアドバイスを求めながら業務をこなす日々でした。また、専門知識を得るために、必要な資格も取りました。このような体当たりの経験が、現在の糧になっています。
- A.4** 築いてきたバックグラウンドを柔軟に活用することが重要であると、仕事に就いてみて実感しました。自身の専攻や得意分野を活かすのはもちろん大切ですが、働く上ではそれまでに培った思考力や対人能力を発揮することも必要になります。また、広い視野とやる気次第で、活躍の場はさらに広がるのではないかと思います。進んだ先が期待と異なることも多々あるかもしれませんが、皆さんにはどのような立場でも向上心を持ち続けていただきたいと思います。



- Q1 現在の仕事内容を教えてください。
- Q2 この業務の魅力や仕事の上で心がけていることは何ですか？
- Q3 印象に残っている業務を教えてください。
- Q4 国立大学法人等職員を志す皆さんへのメッセージをお願いします。

国立高等専門学校機構

学生支援



藁科 成彦 Warashina Naruhiko

所属：沼津工業高等専門学校
学生課 学生係
採用年度：平成26年度
試験区分：事務

ある一日のスケジュール



A.1 現在の仕事は学生対応のほかに、高専体育大会や新生オリエンテーション合宿研修などの学校行事の運営業務、就職活動に必要な証明書等の交付や求人票の受付処理を行っています。学校行事の時期になると体を動かすことが多く、荷物の運搬や会場下見、写真撮影を行っています。

A.2 学生対応では、学校のルールを遵守するよう、社会に出る前の学生に教育的な視点で対応するよう心がけています。

A.3 高専体育大会や高専祭(文化祭)などの学校行事です。学生と一緒に会場設営を行ったり、準備をしたりと、学生と協力して汗を流しイベントを成功させたときの達成感は、学校ならではの思い出です。特に、本校の学生が出場する高専体育大会では応援に熱が入りました。

A.4 学校事務は、学生のときはあまり馴染みがないと思いますが、学校事務という仕事を体験すると、先生はもちろんですが、様々な部署が学校を支えており、それぞれの部署でやりがいを感じることが出来ます。また、毎年卒業生を見送り、新たに入学を迎えるという刺激は仕事をする上で大きなモチベーションとなります。



教育研究支援系技術



山口 真央 Yamaguchi Mao

所属：石川工業高等専門学校
技術教育支援センター
採用年度：平成27年度
試験区分：電気

ある一日のスケジュール



A.1 電気工学科で行われる学生実験・実習の支援が主な業務です。授業では、プログラミングやデジタル回路基礎等の支援を行っており、質問のある学生に対してC言語や論理回路などの知識・技術を個別に指導しています。また、2,3年生の学生実験補助に加えて、変圧器や誘導機を用いた実験テーマと送電線模擬実験のテーマを担当しています。その他、文化祭や公開講座などのイベントでの支援も行っています。

A.2 将来技術者として活躍する学生の教育に関われること、学生と接する機会が多いことが魅力です。

A.3 電気関係の資格試験が年2回あり、筆記試験と実技試験の2つが実施されています。その実技試験の補習を一ヶ月程度の期間で行っており、学生に合格するためのポイントや技術力向上のための指導を行っています。学生が嬉しそうに合格を覚えてくれた時の事が印象に残っています。

A.4 技術職員には機械工作の高い技術を持っている人やネットワーク関連の専門知識を持っている人等様々な職員が一緒になって働いています。どの職場にも色々な特徴があるので、実際に機関訪問をしてその職場の雰囲気を感じてみてください。働きながらスキルアップできる職場もあると思うので、ぜひ自分に合った職場を見つけてください。



勤務条件及び福利厚生について

勤務条件

各機関の就業規則等により異なりますが、ここでは、東海・北陸地区の機関の一例を紹介します。

勤務時間 (1日)7時間45分(週38時間45分)

休日 土曜日・日曜日(完全週休2日制)、祝日
年未年始(12月29日~1月3日)

休暇等 年次休暇 年20日付与
(年の途中で採用された場合は、その期間に応じた日数が付与されます。例:4月1日採用者 採用年は15日付与)
残日数は20日を限度として翌年に繰り越し。
※年間で最高40日
特別休暇、病気休暇、育児休業、介護休業 など

給与 (初任給)月額約180,000円~220,000円程度
(採用前の職歴等により決定されます。)

昇給 1年間の勤務成績に応じて昇給します。

手当 通勤手当、期末・勤勉手当(ボーナス)、扶養手当、住居手当、超過勤務手当 など

人事異動 幅広い実務経験を積み、事務全般に精通できる能力を養うために、採用後は本人の適性や職務経験などを総合的に考慮し、おおむね3年ごとに他の部署への人事異動を実施します。

福利厚生

職員が安心して職務に専念できるよう、様々な福利厚生を用意しています。

健康保険・年金等

短期給付(健康保険)については、文部科学省共済組合に加入し、長期給付(年金)については、厚生年金に加入します。また、文部科学省共済組合で運用している積立貯金制度や福利厚生施設の利用ができます。

健康診断・労働災害補償制度

職員の健康を維持するため、毎年健康診断の実施や人間ドックの補助を行っています。また、職務上の災害(負傷、疾患、障害又は死亡)や通勤途上の災害に関して、社会復帰や生活の安定のために、各種の保障制度を完備しています。

宿舎

世帯向けや独身向けの宿舎を設置している機関があります。



保育所

教職員の勤務形態に柔軟に対応し、子育てと仕事の両立を図るため、学内保育施設を設置して、子育て中の教職員のキャリアと生活、そして子どもたちの成長を支えています。



体育・文化施設

体育館・グラウンド・テニスコートなど、昼休みや勤務時間終了後、休日に気軽に利用できます。また、附属図書館の蔵書なども利用できます。

研修

職員一人ひとりが必要な知識を身につけ、自分の能力を最大限に発揮できるよう、また、それぞれの現場の第一線で活躍できるよう、各種研修を通じて職員の能力開発にも積極的に取り組んでいます。

- 新規採用職員研修
- 階層別職員研修
- 実務研修
- パソコン研修
- 語学研修
- 海外派遣研修
- 民間派遣研修
- 図書系職員研修
- 技術職員研修
- 文部科学省研修
- 自己啓発研修 など

研修体験談は P.15~16に掲載

職場環境の向上

職場環境をより良くするために様々な取り組みを行っています。

- 男女共同参画推進
- メンタルヘルス
- 災害対策等危機管理
- 事業内保育所設置
- ハラスメント防止
- 安全衛生管理
- 意識改革・業務効率推進



研修体験談

研修の種類については
P.14に掲載

多彩な研修は、職員一人ひとりがスキルアップできる貴重な機会となっています。ここでは、それぞれの研修の内容や、今後の業務にどう活かしていきたいかなど、各種研修に参加した職員の声をお届けします。

名古屋大学事務系新任職員研修



宮本 夏実

Miyamoto Natsumi

所属：名古屋大学
教育推進部 教育企画課
採用年度：平成31年度



平成31年4月に本研修を受講しました。これは大学職員としての心構えや基礎的な知識の習得、同期同士のつながりの形成を目的とした研修で、8日間にわたって行われました。

初めの3日間は講義が中心で、多岐にわたる大学の業務内容について学びました。次の3日間ではビジネスマナー講座やMicrosoft研修等を、岐阜大学の新任職員の方とともに受講しました。岐阜大学の職員の方と情報交換もでき、学びの多い時間となりました。最後の2日間は、名古屋大学のPRを考え、発表するというグループワークを行いました。学生の目線に立って大学の魅力を考えた経験は、現在の業務で大学の教育改革を進めていく際にも役に立っています。この他にも若手職員に求められる学びや名古屋大学の歴史について本学の教員から講義を受けたり、先輩職員との交流会が企画されていたりと、大変密度の濃い8日間を過ごすことができました。

本研修で得た知識を礎に、さらに学び続けながらチャレンジを重ね、本学のさらなる発展に貢献していきたいと思っています。



文部科学省行政実務研修



伊達 沙織

Date Saori

所属：浜松医科大学
学務課 教務係
採用年度：平成26年度



私は平成28年10月から1年半、文部科学省行政実務研修生として、高等教育局医学教育課に勤務しました。この期間に医学教育係・看護教育係の2つの係を経験し、各大学からのカリキュラムに関する相談への対応や、補助事業の策定、教育施策に関する企画業務に携わりました。1年半を通して医療系人材育成に関わる教育行政を経験し、大学教育の社会的責任の重さを感じました。また、単科大学に所属する自分にとって、様々な大学の取り組みに触れたことは、幅広い視野を持つきっかけとなりました。

研修では、配属先で担当業務に従事するほか、文部科学省関連施設の見学や講座型研修に参加する機会もあり、その中で多くの大学の研修生とのネットワークを築けたことは、今でも自分の財産になっています。



研修後は、経験を直接生かせる部署に配属となり、日進月歩の医学・看護学教育推進のサポートに努めています。今後も研修で得た経験や人脈を生かし、浜松医科大学の発展に貢献していきたいです。

研修後は、経験を直接生かせる部署に配属となり、日進月歩の医学・看護学教育推進のサポートに努めています。今後も研修で得た経験や人脈を生かし、浜松医科大学の発展に貢献していきたいです。

海外実地研修(北陸先端科学技術大学院大学)



片村 綾

Katamura Aya

所属：北陸先端科学技術
大学院大学
総務部 人事労務課
人事係
採用年度：平成29年度



平成30年6月に約5日間、海外実地研修として本学教員と共にマレーシアに滞在しました。本研修では、UiTM(マラ工科大学)における広報活動だけでなく、マレーシア進出日系企業へのインターンシップ派遣に関する交渉や情報収集等を経験しました。

研修の中では、UiTMの教員とのやりとりから、世界の大学の国際戦略・研究戦略の動向をより深く知ることができましたし、本学の強みや特色を再認識できました。また、訪問時期は日の出から日没まで断食するラマダン期間の最中で、夕食のレストランになかなか入店できないといった日本では味わえないような異文化を体験しました。

マレーシア滞在中は、日本人同士であっても英語で会話するという研修ルールがあったため、英会話には特に苦労しましたが、帰国してからの英語学習のモチベーションに繋がりました。また、職場では外国人教員や研究員への対応の際に早速役立っています。これからも本研修で得られた様々な経験を日々の業務に活かしていきたいです。



岐阜大学未来セミナー



大竹 博和

Otake Hirokazu

所属：岐阜大学
医学部附属病院
総務課 調達係
採用年度：平成19年度

令和元年6月14日から9月13日の約3か月にわたって、岐阜大学未来セミナーが開催されました。本研修は35歳・37歳になる全事務職員を対象に、岐阜大学を取り巻く多様化するミッションについて、主体的に取り組んでいく職員を養成することを目的としています。研修内容として、学長や各担当理事等より様々な視点から見る岐阜大学の現状について講義を受け、講義内容を踏まえて学長・理事の前で「もし私が学長なら、どうする?」をテーマにプレゼンをするものでした。

講義内容は岐阜大学の財政状況や、文部科学省の取り組みなど、待たなしで取り組まなければならないものがほとんどで、今まで自分の業務にのみ目を向けすぎて、いかに自分がこれらに無知・無関心であったかを考えさせられました。プレゼンでは、限られた時間でいかに自分の思いを伝えるかという意義も込められていたため、伝える難しさも痛感しました。研修は終わりましたが、「自分なら、どうする?」という当事者意識を持ち続け、今後も大学発展に貢献していきたいと考えます。





キャリア プロセス

質問

- Q1** 現在の業務内容は何か？
- Q2** 印象に残っている業務、研修や出向経験は何か？
- Q3** 【係員・主任の方】国立大学法人等職員になって良かったと思う点
【係長・課長補佐・課長の方】昇進を経て仕事に対する見方や意識が変わった点
- Q4** 【係員・主任の方】今後挑戦したいことや目標
【係長・課長補佐・課長の方】職員に求めることや期待すること

係員



佐藤 萌香

Sato Moeka

所属：静岡大学
学務部 教育連携室 地域創造学環係
採用年度：平成26年度
試験区分：事務

採用後の経歴

平成26年 4月～ 静岡大学理学部学務係
平成28年 4月～ 同 学務部学生生活課
奨学係
平成30年10月～ 現職

A1. 学生の窓口対応が中心の業務です。取得単位に関する相談を受けたり、学生が提出する書類の取りまとめを行ったりします。また、先生方と連絡を取り合い、時間割を作成し講義の調整を行うこともあります。

A2. 学生の短期留学の引率をするために、アメリカへ研修に行った経験があります。日本を離れている間学生達の安全を守るという責任を強く感じた3週間でしたが、無事に研修を終えたことで業務に対する自信をつけることができました。

A3. 今後日本の将来を支えることになる学生にとって、非常に重要な時期に関わることができるということです。就職が決まった学生の報告を受けているときにそのことを実感し、少しでも学生の力になれるよう励もうと気持ちを新たにすることができました。

A4. まだ挑戦したことのない業務を経験し、自分ができることの幅を広げていきたいと考えています。また、今後も研修や出張に自分から積極的に手を挙げて参加していきたいと思っています。

主任



畑 智江美

Hata Chiemi

所属：福井大学
学務部 入試課 主任
採用年度：平成17年度
試験区分：事務

採用後の経歴

平成17年 8月～ 福井大学総務部
総務企画課 企画・広報係
平成18年 4月～ 同 学務部松岡キャンパス
学務室医学教育第二係
平成19年 7月～ 東海・北陸地区国立大学
法人等職員採用試験事務室
平成21年 7月～ 福井大学学務部
松岡キャンパス学務室学生係
平成23年10月～ 同 病院部経営企画課財務管理係
平成25年 7月～ 同 総務部人事労務課
人事第二係 主任
平成28年 7月～ 同 学務部入試課
入試企画調整係 主任
平成30年10月～ 現職

A1. 大学全体の入試統括が担当です。春から夏にかけてはオープンキャンパスをはじめとする入試広報活動の企画・運営、秋から冬はセンター試験などの入試の実施が業務の中心で、変革期の入試に対応できるよう知識のアップデートも欠かせません。

A2. 何をやるにも「お金」と「ヒト」は重要。このどちらの業務(予算・決算、人事)も経験したことで、職員としての強みになっていると思います。知らないことだらけで苦労したのですが、その都度周りの職員の方に助けてもらい、業務をこなすことができました。

A3. ポジティブな気持ちが集まり、未来を拓く場所で仕事ができること入学してくる学生が、未来のノーベル賞受賞者になるかもと思うとワクワクしませんか？

A4. どんな分野の業務であれ、仕事を通じて「福井大学 Lower」を増やしていくことが目標です。今は入試を担当しているので、対象は受験生。1人ひとりがぴったりの進学先を見つけられるよう、「個人」を意識した仕事を展開していきたいです。

係長



金子 美智子

Kaneko Michiko

所属：豊田工業高等専門学校
学生課 教務係長
採用年度：平成12年度
試験区分：国家公務員試験(行政)

採用後の経歴

平成12年 4月～ 豊田工業高等専門学校
庶務課人事係
平成15年 4月～ 名古屋大学
法学部教務学生掛
平成18年 4月～ 豊田工業高等専門学校
会計課経理係
平成19年 4月～ 同 会計課用度係
平成22年 7月～ 自然科学研究機構岡崎統合
事務センター 財務課出納係
平成24年 4月～ 同 財務課出納係 主任
平成24年 7月～ 育児休業
平成27年 4月～ 豊田工業高等専門学校
総務課財務係 主任
平成28年10月～ 同 学生課学生支援係 主任
平成30年 4月～ 同 学生課教務係 主任
平成31年 4月～ 現職

A1. 主に教務に係る会議や国際交流について担当しています。国際交流では、英語の書類やeメールを受け取ることが多く、英語学習の必要性を感じています。また、窓口業務もあり、学生さんとのやり取りはとても楽しいです。

A2. 名古屋大学法科大学院の立ち上げに携わったことです。事務処理の方法など様々なことを、前例がないところから考えることは、大変でしたがとても勉強になりました。また、職員の方、先生方、大学院生の皆さんと協力して取り組めたことに大きなやりがいを感じました。

A3. 以前は自分の担当職務をこなすことを第一に考えていましたが、学校としての目標に対し、係全体としての関わり方、他部署、先生方との連携を考えながら業務に取り組むようになりました。

A4. まずは、基本的な事務処理を身に付けること。その上で、今までの事務処理の方法にこだわらず、より良くなる方法をどんどん提案してほしいです。また、コミュニケーションは大切です。周囲の方といろんなことを話して、たくさんの方のアドバイスをもらってください。



※採用後は本人の努力、勤務成績等により、基本的には上記のとおり上位ポストに昇進していきます。(機関によっては昇任試験を課す場合があります。)
※職名については機関により異なる場合があります。また、年齢は目安です。

課長補佐

小林 高士

Kobayashi Takashi

所属：自然科学研究機構
岡崎統合事務センター
総務部 総務課
課長補佐

採用年度：昭和62年度
試験区分：国家公務員試験(行政)



採用後の経歴

昭和62年4月～ 豊橋技術科学大学教務部学生課厚生係
平成 元年4月～ 文化庁長官官房総務課
文部省大臣官房総務課文書管理班(併任)
平成 2年4月～ 日本芸術文化振興会基金部
平成 5年4月～ 文化庁文化財保護部美術工芸課庶務係
平成 6年4月～ 岡崎国立共同研究機構総務部国際研究協力課
平成 9年4月～ 同 総務部庶務課庶務係 主任
平成12年4月～ 同 経理部経理課用度第二係 主任
平成14年4月～ 同 総務部人事課任用係 係長
平成16年4月～ 自然科学研究機構岡崎統合事務センター総務課
総務基生研係 係長
平成17年4月～ 同 総務部総務課企画評価係 係長
平成22年7月～ 同 総務部国際研究協力課大学院係 係長
平成26年7月～ 同 総務部総務課総務係 係長
平成28年4月～ 同 総務部総務課専門員(兼)総務係長
平成31年4月～ 現職

A1. 3研究所及び事務センターにおける人事、給与、労務に関する業務を中心とし、課内の各種業務を円滑に遂行するために必要な調整を行っています。また、所長候補者の選考や研究所及び事務部の長による会議の開催等を担当しています。

A2. 法人化までの2年間に、人事課任用係を経験したことが印象に残っています。規程・規則等の整備を進めるなか公務員から法人職員に転換するための人事手続を行った経験は、仕事の見通しを立てる上で、新たに担当する職務でも活かされています。

A3. 仕事を行う上で、判断に繋がる材料を集めること、判断する選択肢をつくることを心がけてきました。抽象的な言い方になりますが、現在は、これらに加え判断する基準を示すことを意識するようになったように思います。

A4. 職員として様々な業務を担当していくことになるものと思います。その時々において、自らのスキルと経験を、現在の仕事にどのように活かすことができるのか意識しながら、業務に当たってもらいたいと思います。

課長

田中 剛

Tanaka Tsuyoshi

所属：金沢大学
学長秘書室長兼
研究・社会共創推進部
産学連携推進課長

採用年度：昭和58年度
試験区分：国家公務員試験
(行政)



採用後の経歴

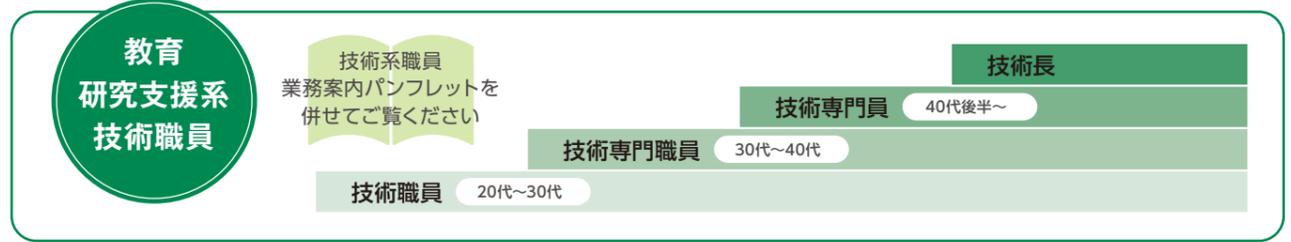
昭和58年4月～ 金沢大学医学部附属病院医事課
平成 7年4月～ 北陸先端科学技術大学院大学総務部会計課用度係
平成10年4月～ 同 契約主任
平成12年4月～ 金沢大学経理部契約室契約第四係契約主任
平成14年4月～ 同 医学部附属病院医事課専門職員
平成16年4月～ 同 財務部契約課契約第二係長
平成22年4月～ 同 病院部経営管理課副課長
平成25年4月～ 同 財務部財務管理課副課長
平成27年4月～ 同 学長秘書室長
平成30年4月～ 現職

A1. 秘書室ってどこなところだろう。学長のそばで大変そうに見えますか?決してそんなことはありません。スケジュール管理や資料作成、関連部署への問合せに客対応など業務は多岐にわたりますが、いろんな情報や人と接することができる楽しいところです。

A2. やはり秘書室ですね。著名な方などに会えると身震いしたこともありましたが、また、特命事項としてグラウンドの人工芝化プロジェクトを完成させたことも印象に残っています。

A3. 特に大学の将来像や方針、学長の考え等を間近で見聞することで、「足は地に、目は遠くを」のような感覚をもったことでしょうか。

A4. 一言で言うと、失敗を語る人(ヒト)になって欲しいです。努力の積み重ねが実力であり、経験値が自分の成長となります。様々な経験を積んで後輩に繋いで欲しいですね。



育休取得体験談

育児のために取得された休業・休暇等

産前産後休暇、育児休業、
育児部分休業、子の看護休暇



仲谷 朋香 Nakatani Tomoka

所属：豊橋技術科学大学
総務課 総務係
採用年度：平成25年度

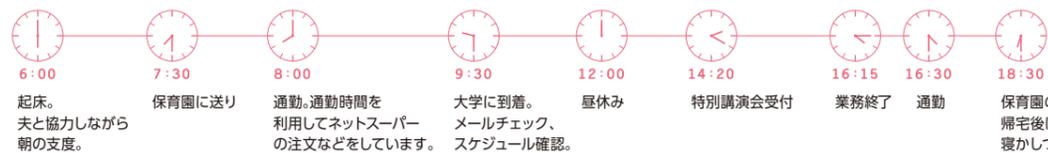
2018年4月に長女を出産し、産後休暇後から10ヶ月の育児休業を取得しました。2019年4月に総務課総務係に復帰し、本学が当番となり開催される学外会議の対応や学外から依頼のある調査などに対応しています。復帰当初は、大泣きする子どもに後ろ髪を引かれる一方で、短時間の勤務や子どもの体調不良で満足に業務がこなせないという子育ても仕事も中途半端な状態となってしまう、どのように動いていけばよいのかと悩んでいました。しかし、業務のフォローから子どもの体調まで気遣ってくださる総務係の皆さんや子育て経験者の先輩方からたくさんのアドバイスをいただき、現在は、効率的な働き方や家事の短術、子どもとの向き合い方などがわかってきたように感じています。

今後の抱負／将来育児休業の取得を考えている方へ

育児休業取得者も多く、制度も充実しているため、仕事と子育ての両立をしやすい環境です。上司や同僚と相談しながら、積極的に制度を活用していただければと思います。私自身もまだまだ模索中ではありますが、周囲の方に協力いただきながら、仕事の時間も家族との時間もより充実させていきたいと考えています。



ある一日のスケジュール

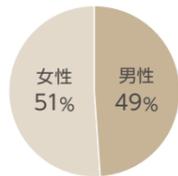


職員アンケート

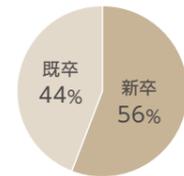
平成30年度に実施した試験で採用された職員に訊きました。
(回答総数:81名 全採用者数の71.7%にあたります。)

回答者の各種区分は以下のとおりです。

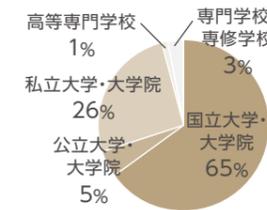
男女比



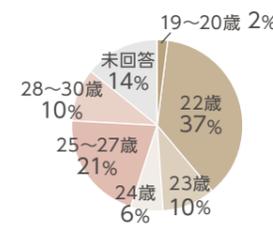
卒業区分



学歴

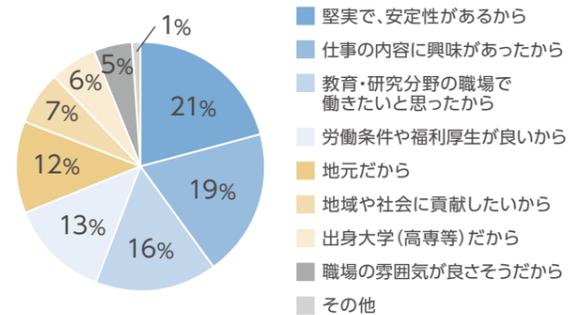


採用時の年齢



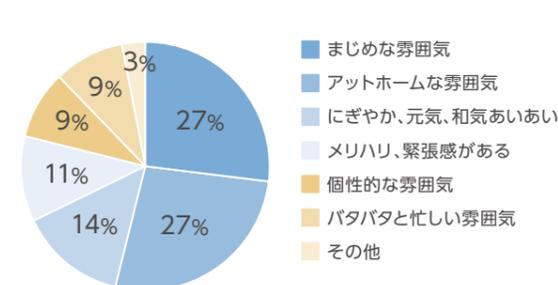
Q1

国立大学法人等職員を志望した理由を教えてください。
(総回答数に対する割合)



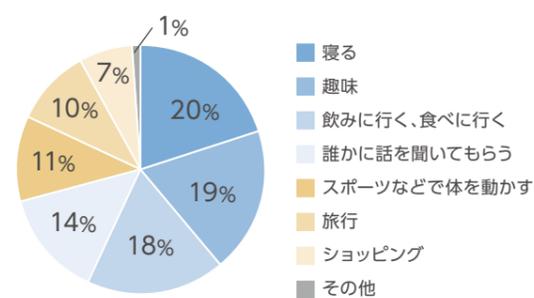
Q2

職場の雰囲気を教えてください。
(総回答数に対する割合)



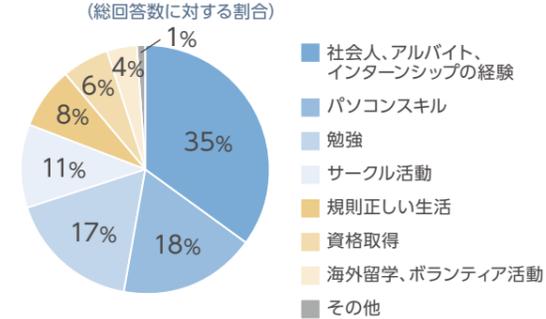
Q3

ストレスの解消方法を教えてください。
(総回答数に対する割合)



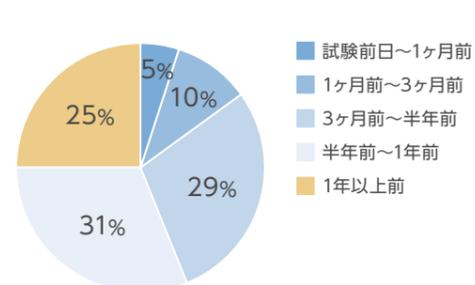
Q4

学生時代や前職(転職者の方)の経験で現在の仕事に役立っていることを教えてください。
(総回答数に対する割合)



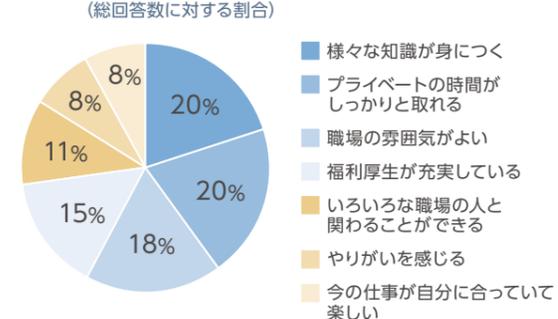
Q5

職員採用試験の勉強を開始した時期を教えてください。



Q6

今の職場に就職して「よかった」と思うことを教えてください。
(総回答数に対する割合)



転職体験談

現職までの経歴

民間企業



大橋 敦子 Ohashi Atsuko

所属：名古屋工業大学
財務課 予算係
採用年度：平成30年度

◆国立大学法人等職員を志望した理由

女性にとって働きやすい環境で働きたいと思い、公務員試験を受けようと思った時に、常に未来に向かっていく大学という場で、これからの未来を担う若者の教育や最先端の研究のサポートができる大学職員に魅力を感じたからです。

◆前職との違い・前職の経験が役立ったこと／試験勉強について

前職では毎日メールで多くのやり取りをしていたため処理件数が多くスピード感と正確さが必要でしたが、今の部署では調書作成等を行うため、スピード感よりも丁寧さや他部署との協力が必要なことが大きな違いだと思います。

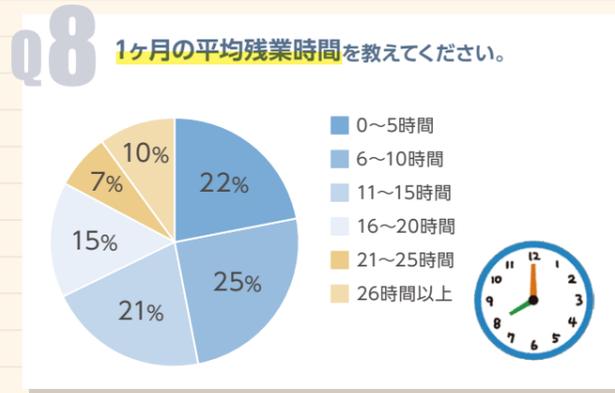
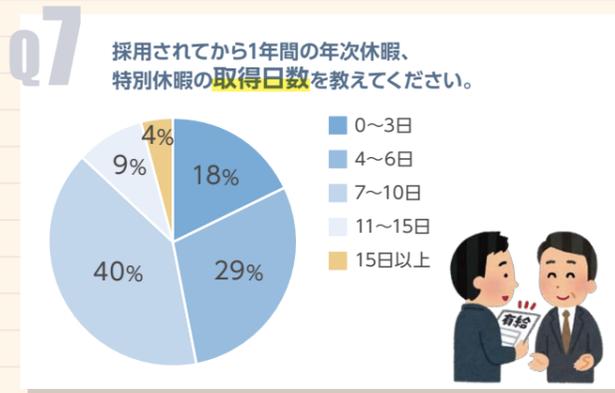
また、今の職場は休暇が多くて取りやすく、男性で育児休業を取得している方が何名もおり、ワークライフバランスの取りやすい職場だと感じました。

前職での経験は、電話の取り方からメールの書き方など基本的なことはもちろん、エクセルスキルは今の職場でも役立っていると思います。

試験内容が幅広いことや大学受験時からかなり時間が経っていること、公務員試験は独特の問題があるため働きながら独学でやるのは大変だと思い、公務員試験の講座に通っていました。仕事が終わってから通勤時間など、毎日コツコツと勉強をしていました。時間配分等をつかむために、模擬試験は何回か受験しておいた方が良いと思います。

国立大学法人等職員へ 転職を考えている方へ

1時間単位でも有休が取れるなど民間に比べると格段に休暇が取りやすく、ワークライフバランスが取れた働きやすい職場だと思います。仕事をしながら勉強している方や仕事を辞めて勉強している方など背景は様々だと思いますが、公務員試験は問題との相性もあると思うので、最後まで諦めないで頑張ってください。また、大学によってカラーがあるので説明会などで職員の方々の雰囲気を感じておくのと良いと思います！



Q9 「国立大学法人等職員」の印象について、実際に職員として働く前と後とでギャップを感じたことがあれば教えてください。

- 部署によって仕事内容が全く異なり、関わる人(学生・先生・外部の方)も異なることです。(事務/大学)
- もっと堅いイメージがあったが思ったほど堅苦しくはなく、職場環境も良好で、前職よりも動きやすい環境だった。(事務/大学)
- はじめは事務系なので黙々と働くという印象でしたが、実際は多くの人のコミュニケーションが必要な仕事でした。(事務/大学)
- 業務が想像以上に幅広く、一括りに事務と言っても、デスクワークだけではないことにギャップを感じました。(事務/大学)
- 1つの仕事に数ヶ月かかること。先生方や外部の方とのやり取りで少しづつ仕事が進んでいくイメージ。(事務/大学)
- 想像していたよりも教員と近く、良くも悪くも学生の立場からは見えない先生の顔が見られます。(事務/大学)
- 一般企業と違い、上下関係がさほどなく、自分の意見を言いやすい職場のため、日々自発的に考えることが多いです。(事務/大学)
- 各部署ごとの問い合わせなど別の部署との連携が重要な仕事だと感じました。(事務/研究所)
- 漠然と学生と関わるイメージを持っていたが、部署によっては学生とまったく関わらなかったこと。(事務/高専)
- 既卒の割合が高いことやプライベートが充実していること。(図書/大学)
- 意欲次第で様々な業務を行うことができる点。前職より仕事の幅が非常に広いです。(生物・生命科学(教育・研究支援系)/大学)
- 職員のみならず、教授、研究員、支援員、学生を含め、研究所全体が予想以上にアットホームな感じで、縦横の繋がりが強く非常に働きやすい職場だと感じています。(化学(教育・研究支援系)/研究所)

Q10 国立大学法人等職員のやりがいや魅力を教えてください。

- 教育といっても、教えるという立場ではなく大学そのものを支える立場に自分があることにやりがい・魅力を感じます。(事務/大学)
- 数年で異動があるので様々な人や業種に関わることができること。自分の知見が広がっていく気がして楽しみです。(事務/大学)
- やりがいは裏方として大学を運営している意識を持てる点。魅力は話しかけやすい雰囲気の人が多く職場が温かい点。(事務/大学)
- 福利厚生が充実していて、休暇も比較的取得しやすいです。(事務/大学)
- 自分の業務が直接ではなくても、学生の学びや先生の研究、企業や地域との連携を支えている点。(事務/大学)
- 将来の日本、ひいては世界を牽引していくであろう人材の育成に携わることができることです。(事務/大学)
- 知識・経験とともに自分でできる仕事が増えることや自分の仕事が生徒や教員のために繋がっていることです。(事務/大学)
- オープンキャンパスや入学式・卒業式など様々な行事があり、準備は大変ですが、やりがいを感じられます。(事務/大学)
- ノーベル賞候補になるような研究者の研究を支えていると感じる点は魅力です。(事務/研究所)
- 教育・研究活動に携われること。また、産学・地域連携という意味で、地域への貢献を果たしていけることです。(事務/高専)
- 自分の専門分野を生かして、学生や教員の教育・研究支援に携わることができます。(図書/大学)
- 最先端の研究を間近で見ることができ、その業務を補助できる点です。(生物・生命科学(教育・研究支援系)/大学)
- 最先端の研究に携われる点が魅力的であるとともに、そのような研究に貢献できる点にやりがいを感じます。(化学(教育・研究支援系)/研究所)

Q11 仕事での失敗談、苦労話などがあれば教えてください。

- 医療系の課に所属していますが、専門用語が多く、業務や電話の内容を理解するのに苦労しました。(事務/大学)
- 申込書類の確認漏れで申請した方が参加できなくなる場所でした。二重三重の確認をしようと思いましたが。(事務/大学)
- 教員からの要望に、予算的・技術的に厳しく、対応しきれないところ。(事務/大学)
- パソコンスキルが無かったので、膨大な学生のデータを抽出するのにとても時間がかかってしまいました。(事務/大学)
- 先生や研究員の方の名前、研究室名を覚えることが大変でした。まだ顔と名前が一致しない先生もいます。(事務/大学)
- 留学生の窓口対応です。翻訳機能を使ったり簡単な英単語を紙に書いて、何とか意思疎通を図ろうと苦労しました。(事務/大学)

- 就業規則など、それまでの人生で目にするものなかったものを、読んで理解するのに最初は苦労しました。(事務/大学)
- 月々で支払う金額を間違えて多く支払いしてしまったこと。(事務/大学)
- 引継ぎや机上の整理ができておらず、出張中の担当職務の問い合わせで係の方に迷惑をかけました。(事務/高専)
- 業者の方とのメールや電話のやり取りの際の言葉遣いでおかしな日本語になってしまったこと。(事務/高専)
- ドイツ語やフランス語など、学んだことのない言語で新規書誌を作成することが多く、四苦八苦しました。(図書/大学)
- 機器の故障箇所が中々特定できず、何度も修理が必要になったこと。(生物・生命科学(教育・研究支援系)/大学)
- 必ずしも手取り足取り全て教えてもらえるわけではなく、ある程度は、自分の独力で覚えていかないとはいけなことも多いです。(化学(教育・研究支援系)/研究所)
- 法律や規則が膨大であり、それらの理解や覚えることに苦労します。(電気(施設系)/大学)

Q12 就職活動中のエピソードを教えてください。(苦労話、やって良かったことなど。)

- 自分の通う大学の職員の方にお話しを聞くことが志望の大きな原動力となりました。(事務/大学)
- 前職が販売業だったので、自己分析の結果自分をどう売り込んだらいいかを考えるのが楽しかったです。(事務/大学)
- 国立大学法人だけではなく、就職活動全体で、語学の検定の点数が高いと面接官の反応が良いと感じました。(事務/大学)
- 働きながら筆記試験の勉強をすることが大変でした。時間を大事にしなければと思うようになりました。(事務/大学)
- 国立大学は国の動きとも連動しているので、ニュースなどで動向チェックはしていた方が面接に役に立つと思います。(事務/大学)
- 勤務する周辺地域のニュースを収集していたことです。(事務/大学)
- 国立大学法人の採用試験は、一般企業と比べて時期が遅く焦りを感じました。面接での回答内容や話し方で、既卒者との差を感じました。(事務/大学)

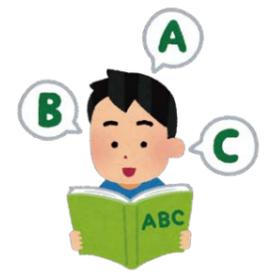
- 筆記試験から面接までの時間があまりないことです。試験は受かる前提で面接対策をすると良いかもしれません。(事務/大学)
- 自己分析に苦労しました。就職活動を始める時点から自己分析をしておくことの必要性を感じました。(事務/大学)
- 一般企業の就職活動と、国立大学法人等職員の試験勉強と大学の授業との両立が大変でした。(事務/研究所)
- 仕事を続けながら隙間時間で勉強をしていました。久しぶりの勉強は、習慣にするまでが大変でした。(事務/高専)
- 自己分析に時間をかけました。改めて自分を見つめ直すことで、自信を持って面接に臨むことができました。(図書/大学)
- 自己分析や回答例を作って練習するなどの準備は、面接のときの緊張時でも自信として強い味方になっていたと思います。(農学(教育・研究支援系)/大学)
- 研究室の狭い世界で生きていたので、自分がどう貢献できるかを十分アピールできませんでした。(機械(教育・研究支援系)/大学)

Q13 業務のために、今後学びたいこと、取りたい資格等を教えてください。

- 留学生対応が多いので、もっと英語を勉強して留学生とスムーズにコミュニケーションをとれるようになりたいです。(事務/大学)
- 英語関連、労働衛生、廃棄物関連の資格を取りたいと考えています。(事務/大学)
- 安全衛生に関する資格を取得したいと考えています。(事務/大学)
- 会計・経理・財務の知識を増やしていきたいと思っています。(事務/大学)
- 知的財産に関する業務をしているので、知的財産管理技能検定には挑戦してみたい。(事務/大学)
- 採用後医事課に配属されたが、医療に関する知識は全くないので、医療事務等基礎的な知識をしっかりと学んでいきたい。(事務/大学)
- システム系の資格、文書作成・管理や人事業務に関するをもっと勉強していきたいです。(事務/大学)
- 学生や保護者の方々に、大学をアピールできるように、大学に関する知識をたくさん蓄えていきたいです。(事務/大学)
- 今後のためにもPCの応用スキルやマネジメント概論などを学んでいきたいと思っています。(事務/高専)
- 留学生や、国際交流関係の業務が円滑に進められるよう、英語を学んでいきたいです。(事務/高専)
- 検索技術者検定やIAAL大学図書館業務実務能力認定試験に挑戦したいです。(図書/大学)
- 施設職員として専門の電気だけでなく建築、機械設備の知識を身に付けていきたいです。(電気(施設系)/大学)
- 実用的な機械設計、真空、放射線について学びたいです。取りたい資格は、第一種放射線取扱主任者、クレーンの資格です。(機械(教育・研究支援系)/大学)

Q14 国立大学法人等職員を志す皆さんへのメッセージ(激励、アドバイスなど)をお願いします。

- 実際に職員になった姿を想像し、何をやりたいのか情熱を持って試験に向けて頑張ってください。(事務/大学)
- わからないことがあっても丁寧に教えてくださる先輩方ばかりなので、就職して後悔することはないと思います。(事務/大学)
- 初任者研修の時点で、異業種交流の様相を呈します。転職して、間違いなく世界が広がりました。(事務/大学)
- 倍率が高いから自分は無理だと諦めず、ぜひチャレンジしてみてください。熱い思いは必ず届くはず。(事務/大学)
- ワークライフバランスは非常に取りやすい環境にあると思います。特に前職が厳しい環境だった方にはお勧めです。(事務/大学)
- 既卒・新卒どちらも同じ土俵で戦える希有な採用ではないかと思うので、どちらの方も頑張ってください。(事務/大学)
- 再就職は不安もあるかもしれませんが、社会人経験は強みになります。同年代の同期も多いので安心してくださいね。(事務/大学)
- 教育や研究に関わりたくないという意欲があれば、勉強や試験の面接なども上手くいくと思います。頑張ってください。(事務/大学)
- 大学、高専等でそれぞれ特徴があるので、他との違いを意識して、面接に臨むと良いかもしれません。頑張ってください。(事務/大学)
- 自分の魅力に自信をもって試験に臨むことが重要だと思います。頑張ってください。(事務/高専)
- とても良い職場環境であり、やりがいもある。試験勉強を頑張る意味が充分にあると思う。(事務/高専)
- 採用日の1か月前に採用が決まることもあるので、諦めないで頑張ってください。(図書/大学)
- 比較的安定した職種であるが故、受動的にも能動的にもなる事ができます。じっくり考え、その上で志したのであれば、これほど面白い仕事もないと思います。(電気(教育・研究支援系)/研究所)
- 自分が研究をしたいのか、学問、研究のための仕事が見たいのか見極めておくのと良いと思います。(農学(教育・研究支援系)/研究所)



01 富山大学

富山大学は、平成17年10月に旧富山大学、富山医科薬科大学、高岡短期大学の3つの国立大学法人が統合し、地球サイズの視点から本質を見つめ、時代の要請に応えることのできる総合大学として誕生しました。

本学は、理念として「地域と世界に向かって開かれた大学として、生命科学、自然科学と人文社会科学を総合した特色ある国際水準の教育及び研究を行い、人間尊重の精神を基本に高い使命感と創造力のある人材を育成し、地域と国際社会に貢献するとともに、科学、芸術文化、人間社会と自然環境との調和的発展に寄与する」ことを掲げています。

<https://www.u-toyama.ac.jp/>

採用担当：総務部人事課
☎076-445-6017 ✉jinjikikaku@adm.u-toyama.ac.jp
〒930-8555 富山県富山市五福3190
DATA：全教職員数（常勤）2,298名
（うち：事務職員388名、図書職員17名、技術職員76名）

採用担当者からのMessage

本学は、地域・全国・世界を見据え、知の発信源の核となる大学を目指しています。大きく変化する社会、人類の進化を支えるため、今まさに「人」の力が求められています。

本学では、様々な課題に積極的に取り組むとともに、より一層社会に貢献するため、新しい富山大学を創りたい、そんな意欲を持ち、挑戦意欲・実行力があり、柔軟かつ本質的な思考ができる健康で心身ともにタフな人を求めています。

02 金沢大学

本学は、「地域と世界に開かれた教育重視の研究大学」という理念を掲げ、150年以上にわたる歴史を経て、現在の日本海側にある基幹的な総合大学へと発展し、わが国の高等教育と学術研究の興隆に大きな貢献をしてきました。

「専門知識と課題探求能力、そして国際感覚と倫理観を有する人間性豊かな人材の育成」を教育目標に掲げ、科学的な世界観と歴史観、論理的展開力、己を磨く人間力、創造力、そして日本文化・異文化に対する深い理解力を備え、知識基盤社会の中核的リーダーとなって挑戦し続ける人材の育成に努めています。

<https://www.kanazawa-u.ac.jp/>

採用担当：総務部人事課事務係
☎076-264-6147 ✉jinji@adm.kanazawa-u.ac.jp
〒920-1192 石川県金沢市角間町
DATA：全教職員数（常勤）2,930名
（うち：事務職員446名、図書職員11名、技術職員79名）

採用担当者からのMessage

本学では、「皆が頑張る、地域に愛され、世界に輝く金沢大学を創る」という目標を掲げ、教職員が一丸となっています。大学という教員が主役と思われるかもしれませんが、事務職員も、大学運営の主役は自分たちであるという誇りと責任を持って毎日の仕事に取り組んでいます。自らの役割を見極め実行できる人、目標を定め実現に向かって努力できる人、変化を恐れず挑戦できる人。金沢大学は、そんなあなたを待っています。

03 北陸先端科学技術大学院大学

本学は、国際水準の最先端で学際的な研究を背景に、大学院教育を実施するため、学部を持たない我が国で最初の国立大学院大学として平成2年に開学しました。

出身学部を問わず、社会人・留学生を含め広く学生を受け入れるとともに、先端科学技術分野をリードする研究者を広く各界から迎えることで、最高レベルの教授陣を擁しています。本学の学生や教員に占める外国人の割合は、国立大学法人の中でもトップクラスで、重要な事務連絡メールは英語と日本語で交わされるなど、学内は国際色豊かな雰囲気には溢れています。

<https://www.jaist.ac.jp/index.html>

採用担当：人事労務課人事係
☎0761-51-1061 ✉jinji@jaist.ac.jp
〒923-1292 石川県能美市旭台1-1
DATA：全教職員数（常勤）304名
（うち：事務職員122名、図書職員1名、技術職員24名）

採用担当者からのMessage

本学は事務職員の平均年齢が若く、規模が小さくないために事務職員一人一人の果たす役割が多い、やりがいのある職場です。また、職員の能力・資質向上を目的に、語学研修などの専門研修を行うとともに、文部科学省（行政実務）等における研修制度を積極的に活用しています。本学では、現状に対し課題意識を持ち、自ら考え積極的に行動する人材、チームワークを大切にできる人材を求めています。

04 福井大学

本学は、平成28年度から新たに「国際地域学部」を加えた4学部で体制を改め、総合大学としてより充実した姿となりました。本学ではこれまでも様々な特色のある教育を行っており、その取り組みや、研究力、社会貢献活動が評価され、令和元年には、複数学部を要する国立大学において学生の就職率が12年連続1位となりました。

本学は、学生一人ひとりの力を最大限に引き出せるようなきめ細かな教育を実践するとともに、学生が実力を発揮できる進路を的確に見定めるための強力な支援を行う、「真の力をつけられる大学」です。

<https://www.u-fukui.ac.jp/>

採用担当：総務部人事労務課
☎0776-27-9853 ✉bjniji@ml.u-fukui.ac.jp
〒910-8507 福井県福井市文京3-9-1
DATA：全教職員数（常勤）1,831名
（うち：事務職員267名、図書職員3名、技術職員41名）

採用担当者からのMessage

本学では、大学運営を効果的・効率的に支える事務局づくりを進めるため、全職員が参加して「事務局ビジョン」と「職員の行動指針」を策定しました。常に、誰のために、何のためにという思いを持ちながら業務に取り組んでいます。また、研修制度も充実しており、職員の学びたいという思いに応えることができます。

自ら深く考え、一歩前に踏み出すことができる方、進んで協同することができる方をお待ちしています。

05 岐阜大学

「学び、究め、貢献する岐阜大学」

「人が育つ場所」という風土の中で「学び、究め、貢献する」人材を社会に提供する。そして法人自体も「学び、究め、貢献する」地域にとけこむ大学であるべきことを理念としています。

本学は、全ての学部・研究科が1つのキャンパスにある特徴を教育・研究の両面に活かし、特に、高度な専門職業人の養成に主眼を置いた教育、教育の基盤としての質の高い研究、地域に根ざした国際化を展開しています。さらに、これらの成果を地域還元することなどにより、地域社会の活性化の中核的拠点として、地方創生の一翼を担っています。

<https://www.gifu-u.ac.jp/>

採用担当：人材開発部人事給与課事務係
☎058-293-2018 ✉gjdp01004@jim.gifu-u.ac.jp
〒501-1193 岐阜県岐阜市柳戸1-1
DATA：全教職員数（常勤）2,292名
（うち：事務職員315名、図書職員6名、技術職員92名）

採用担当者からのMessage

地域貢献をその使命とする岐阜大学と、世界の研究大学を目指す名古屋大学は、世界と我が国社会の大きな変動と大学を取り巻く状況の著しい変化を踏まえ、令和2年4月に東海国立大学機構として生まれ変わり、それぞれの強みを最大限に生かしながら補い合い、次なる時代へパワーアップを図ります。

職員は機軸職員として採用され、機構が求めるコミュニケーション能力や企画力、語学力などを有することはもちろんですが、加えて教育・研究への情熱や現状に対する問題意識を有し、様々な課題が生じる現場の中で自己のスキルを磨くことができる人材を求め、またその育成を支援します。

新たな国立大学のあり方を一緒につくっていきましょう。

08 名古屋大学

「勇気ある知識人を育てる」

本学は、3つのキャンパス等に、9学部・13研究科、附属図書館、医学部附属病院、3附置研究所、3共同利用・共同研究拠点等を擁する世界的な研究重点大学で、平成30年3月に文部科学大臣から「指定国立大学法人」に指定されたのを契機に、さらなる高次元への飛躍を目指しています。自由闊達な学風の下、ものづくりの中心たる東海の地において、その基盤となる学術研究と人材育成を担い、我が国の学術・文化・産業の発展を支えてきました。世界の最先端を目指す独自の研究活動や多分野にわたる国際展開は、刮目に値する高いパフォーマンスを示し、これまでに6名のノーベル賞受賞者を輩出しています。

本学は、全ての学部・研究科が1つのキャンパスにある特徴を教育・研究の両面に活かし、特に、高度な専門職業人の養成に主眼を置いた教育、教育の基盤としての質の高い研究、地域に根ざした国際化を展開しています。さらに、これらの成果を地域還元することなどにより、地域社会の活性化の中核的拠点として、地方創生の一翼を担っています。

<http://www.nagoya-u.ac.jp/>

採用担当：総務部人事課（第一人事担当）
☎052-789-2028, 5808 ✉jj2028@adm.nagoya-u.ac.jp
〒464-8601 愛知県名古屋市中種区不老町
DATA：全教職員数（常勤）5,053名
（うち：事務職員636名、図書職員48名、技術職員211名）

採用担当者からのMessage

地域貢献をその使命とする岐阜大学と、世界の研究大学を目指す名古屋大学は、世界と我が国社会の大きな変動と大学を取り巻く状況の著しい変化を踏まえ、令和2年4月に東海国立大学機構として生まれ変わり、それぞれの強みを最大限に生かしながら補い合い、次なる時代へパワーアップを図ります。

職員は機軸職員として採用され、機構が求めるコミュニケーション能力や企画力、語学力などを有することはもちろんですが、加えて教育・研究への情熱や現状に対する問題意識を有し、様々な課題が生じる現場の中で自己のスキルを磨くことができる人材を求め、またその育成を支援します。

新たな国立大学のあり方を一緒につくっていきましょう。

06 静岡大学

静岡大学の理念「自由啓発・未来創成」

本学は、静岡県内に2つのキャンパスを置き、1万人余の学生を擁する総合大学です。

静岡キャンパスは、静岡市街と駿河湾を望む日本平の裾野の緑豊かな丘陵地に立地しています。気候は温暖で、穏やかな気質が特徴です。

浜松キャンパスは、モノづくりの中心地・浜松市の市街地に立地しています。「やらまいか精神」で新しいことにチャレンジする気質があります。

地域の豊かな自然と文化に対する敬愛の念をもち、質の高い教育、創造的な研究による人材の育成を通して、人類の未来と地域社会の発展に貢献していきます。

<https://www.shizuoka.ac.jp/>

採用担当：総務部人事課人事係
☎054-238-4416 ✉ninyou@adb.shizuoka.ac.jp
〒422-8529 静岡県静岡市駿河区大谷836
DATA：全教職員数（常勤）1,107名
（うち：事務職員223名、図書職員14名、技術職員70名）

採用担当者からのMessage

本学は、教育・研究を通じ、社会や地域において必要不可欠な存在となるために、より個性豊かな魅力ある大学となるべく努力しています。また、知（地）の拠点として、時代をリードし創成する場へとその使命は大きく膨らんでいきます。わたしたち職員の業務は多種多様で、柔軟性や創意工夫を求められる非常にやりがいのある仕事です。固定観念にとらわれず、チャレンジ精神旺盛な大学を目指す方の応募を期待しています。

07 浜松医科大学

本学は昭和49年の開学以来、

- 優れた医療人を養成すること、
- 独創的で世界の最先端研究の拠点となること、
- 最善・最良の医療を提供し地域医療の中核病院となること、
- 産学官連携など、大学の持つ「知」を社会へ提供・還元すること

を使命としています。国立大学法人化後も、この使命を念頭に置き、大学の個性、地域性、伝統などを前面に出した中期目標を掲げ、その目標の達成のために職員が一丸となって精力的に活動をしています。

<https://www.hama-med.ac.jp/>

採用担当：人事課任用係
☎053-435-2412 ✉ssn@hama-med.ac.jp
〒431-3192 静岡県浜松市東区半田山1丁目20-1
DATA：全教職員数（常勤）1,362名
（うち：事務職員133名、図書職員2名、技術職員12名）

採用担当者からのMessage

大学の職員というとどんな業務が思い浮かびますか？学生のサポートが一番に思い浮かぶでしょうか？学生のサポートはもちろんのこと、医療のサポート、先生の研究と企業との橋渡し、大学経営に関する業務等、様々な分野があります。特に本学は単科大学で、いろいろな部署を経験できますので仕事の幅が広がります。

一緒に本学を発展させたい、本学で働きたい、やる気のある方をお待ちしております。

国立大学法人

大学共同利用機関法人

独立行政法人国立高等専門学校機構

独立行政法人国立青少年教育振興機構

国立大学法人

大学共同利用機関法人

独立行政法人国立高等専門学校機構

独立行政法人国立青少年教育振興機構

09 国立大学法人 愛知 愛知教育大学

「子どもたちの未来を拓く教育の総合大学」

本学は、わが国の学校教育の質の向上を目指し、「高度化」を主軸として、「実践力の育成」、「現場教員の学び直し」を行っています。また、学校現場が抱える課題に対応する力を持ち、社会を担う子どもたちの未来を拓くことができる教員の養成と学校教育を支援する人材の育成を行います。



事務を行うスタッフは、単なる管理運営、修学指導、学生生活指導のみではなく、大学の将来を見据えた改革に参画しています。

<https://www.aichi-edu.ac.jp/>
採用担当：人事労務課人事係
☎0566-26-2124 ✉ninyo@m.auecc.aichi-edu.ac.jp
〒448-8542 愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢1
DATA：全教職員数（常勤）539名
（うち：事務職員137名、図書職員3名、技術職員5名）

採用担当者からのMessage
本学は、職員数としては国立大学法人の中では小さな大学となりますが、小さな組織だからこそ、一人ひとりがとても大きな存在となります。また、職員同士のコミュニケーションがとても取りやすいのも大きな特徴です。そんなところに魅力を感じ、愛知教育大学という組織をよりよい形へと変えていく気持ちを持っている人、そんな皆さんとお会いできることを心から楽しみにしております。

10 国立大学法人 愛知 名古屋工業大学

理念：「ものづくり・ひとづくり・未来づくり」

特徴：教員は、学科ではなく5つの「領域」に所属。異分野の教員との交流による刺激や発想の中から、学際的研究が次々と誕生しています。



事務組織においては、組織全体をフラット化するとともに、重点的に取り組む業務には教職員が一体となってチームを編成し、変化し続ける業務に柔軟に対応できる体制を整備しています。



魅力：単科大学ならではの、小回りの良さやアットホームな職場環境です。緑豊かな鶴舞公園に隣接する立地や、JR及び地下鉄からのアクセスの良さも魅力です。

<https://www.nitech.ac.jp/>
採用担当：人事課人事係
☎052-735-5012 ✉jinji@adm.nitech.ac.jp
〒466-8555 愛知県名古屋市中区御器所町
DATA：全教職員数（常勤）519名
（うち：事務職員116名、図書職員4名、技術職員49名）

採用担当者からのMessage
求める人材像：自分で考えて行動ができる、バイタリティーがある、コミュニケーション能力が高い、柔軟な発想ができる、努力を惜しまない、というようなこれだけは他の人には負けないと言える、自分にしかない「何か」を存分に発揮し、それを日々の業務に活かすことができる人を求めています。本学では熱意・エネルギー溢れる意欲的な人材を求めています。あなたのやる気や形にできる職場です。そんなあなたと一緒に働ける日を楽しみにしています。

13 大学共同利用機関法人 静岡 情報・システム研究機構 国立遺伝学研究所

本研究所は、遺伝学の中核拠点として生命システムの解明を目指すため1949年に創設されました。現在は、情報・システム研究機構の一研究所として、国立情報学研究所、統計数理研究所、国立極地研究所と協力し新しい研究領域を開拓するとともに、研究コミュニティとのデータ共同利用や共同研究を推進し、大学等における研究力強化に貢献しています。また、大学共同利用機関として重要な使命である大学院教育（総合研究大学院大学生命科学研究科遺伝学専攻）を実践し、遺伝学研究分野の人材育成に努めています。



<https://www.nig.ac.jp/nig/ja/>
採用担当：管理部総務企画課人事係
☎055-981-6716 ✉nigjinji@nig.ac.jp
〒411-8540 静岡県三島市谷田1111
DATA：全教職員数（常勤）93名
（うち：事務職員18名、図書職員0名、技術職員12名）

採用担当者からのMessage
本研究所は、日本の科学研究費（科学研究費助成事業）の獲得もトップレベルであり、生命科学分野における国内有数の研究教育機関です。日々、研究活動の支援を行うことにより、最先端の研究や基礎研究の取り組みを身近に実感できる大変やりがいのある職場です。このような職場環境の中で、好奇心に溢れ、何ごとにも積極的にチャレンジできる方、新たなより良い時代を我々と一緒に目指しましょう。

14 大学共同利用機関法人 岐阜 自然科学研究機構 核融合科学研究所

本研究所は、安全で環境に優しい次世代エネルギーの実現を目指し、大学共同利用機関として、国内や海外の大学・研究機関とともに、大型ヘリカル装置（LHD）による実験研究を中心とした活発な研究活動を行っています。また、教育機関として、次世代の優れた人材を育成し、核融合科学に関する基礎的研究・教育を強力に推進しています。研究教育組織を支えるため、管理部は4課、技術部は5課で構成され、事務職員及び技術職員が研究教育職員と連携を図りながら、更なる研究の推進に向けて、それぞれの業務を遂行しています。



<http://www.nifs.ac.jp/>
採用担当：管理部総務企画課人事係
☎0572-58-2013 ✉nifs-jinji@nifs.ac.jp
〒509-5292 岐阜県土岐市下石町322-6
DATA：全教職員数（常勤）233名
（うち：事務職員43名、図書職員1名、技術職員46名）

採用担当者からのMessage
「核融合科学研究所」というと、近寄りたイメージを持たれるかもしれませんが、本研究所は原子力発電とは異なる、安全で環境に優しい核融合発電の実現を目指した基礎研究を進めており、研究教育職員、事務職員及び技術職員が一体となって業務に取り組んでいます。また、オープンキャンパス（一般公開）や市民学術講演会の開催、工作教室や地元のイベントへの参加などを通じて、地域に開かれた研究所を目指しています。このような職場環境の中、何事にも積極的にチャレンジできる、明るく元気な人材を求めています。

11 国立大学法人 愛知 豊橋技術科学大学

多くの仲間と一緒に 技術を究め、技術を創る ~ Towards Future Technology ~

本学は、技術を科学で裏付け、新たな技術を開発する学問、技術科学の教育・研究を使命とします。この使命のもと、大学院教育に重点を置き、豊かな人間性と国際的視野をおよび自然と共生する心を持つ実践的創造的かつ指導的技術者を育成するとともに、次の時代を拓く先端技術の研究を行います。さらに、地域社会との連携、国内及び国際社会に開かれた大学となることを目指します。



<https://www.tut.ac.jp/>
採用担当：総務課人事係
☎0532-44-6507 ✉jinji@office.tut.ac.jp
〒441-8580 愛知県豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1
DATA：全教職員数（常勤）349名
（うち：事務職員113名、図書職員2名、技術職員22名）

採用担当者からのMessage
本学は比較的小規模な大学ですが、その分ネットワークが軽く、年齢・役職にとらわれず活発にコミュニケーションのとれる職場づくりを行っています。仕事は総合大学と変わらない種類があり、職員が担当することとなる業務も多岐に渡り、シネナリストを目指す方にとってはとても良い環境であります。また、スペシャリストを目指す方も専門以外の業務を経験できるチャンスがありますので、ぜひ志望してみてください。

12 国立大学法人 三重 三重大学

本学は、南北100Kmにわたる伊勢平野の中心に位置し、伊勢湾に面している自然豊かなキャンパスに5学部6研究科を擁する総合大学です。昭和24年に三重師範学校、三重青年師範学校及び、三重農林専門学校を母体とし、新制大学として発足以来、その教育・研究の実績と伝統を踏まえ、「人類福祉の増進」「自然の中での人類の共生」「地域社会の発展」に貢献できる「人材の育成と研究の創成」を目指し、学術文化の受発信拠点となるべく、切磋琢磨することを基本理念としています。また基本目標（ミッション）として「三重の力を世界へ：地域に根ざし、世界に誇れる独自性豊かな教育・研究成果を生み出す～人と自然の調和・共生の中で～」を掲げ、地域に根ざした人材の育成及び研究活動に意欲的に取り組んでいます。更に地域圏大学として、教育、産業振興、災害対策、医療・福祉等多岐にわたり、知の支援活動と産学官連携を推進しています。



<http://www.mie-u.ac.jp/>
採用担当：企画総務部人事労務チーム人事・評価担当
☎059-231-9014 ✉j-jinji@ab.mie-u.ac.jp
〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577
DATA：全教職員数（常勤）2,080名
（うち：事務職員297名、図書職員5名、技術職員62名）

採用担当者からのMessage
皆さんはどんな夢を持っていますか？将来、どのようになりたいですか？就職活動は自分の人生について考え、自分を見つめ直す良い機会です。この機会に色々な人と会い、見聞を広めてください。そして、爽やかなものとなるよう頑張ってください。本学は、伊勢湾に面し鈴鹿山脈を望み、とても思われた自然環境の中にあります。そして、地域と密接につながりながら、教育・研究成果を社会や世界へ発信していくことを目標とし、環境への取り組みにも力を入れています。情熱とチャレンジ意欲を持つ皆さんとお会いできるのを楽しみにしています。

15 大学共同利用機関法人 愛知 自然科学研究機構 基礎生物学研究所

本研究所は、生物現象の本質を分子細胞レベルで解明することをめざし、細胞生物学、発生生物学、神経生物学、進化多様性生物学、環境生物学、理論生物学、イメージングサイエンスの7つの研究領域にわたる幅広い研究活動を行っており、研究所出身者からノーベル賞受賞者も輩出しています。また、基礎生物学研究の中核拠点として全国の研究者に共同利用・共同研究の場を提供しています。研究所には技術課が設置され、技術職員が研究教育職員と連携を図りながら、新たな段階となる研究の推進に向けて、それぞれの業務を遂行しています。



<http://www.nibb.ac.jp/>
採用担当：自然科学研究機構 岡崎統合事務センター 総務課人事係
☎0564-55-7113 ✉r7113@orion.ac.jp
〒444-8585 愛知県岡崎市明大寺町字西郷中38
DATA：全教職員数（常勤）124名
（うち：事務職員53名、図書職員0名、技術職員27名）
※事務職員数は岡崎統合事務センターの職員数を記載しています。

採用担当者からのMessage
世界最先端の研究現場で研究を支援する業務です。技術職員がそれぞれ持つ特殊な技術力を背景に様々な実験機器や分析装置などを扱って研究支援を行うとてもやりがいを感じる職場です。ノーベル賞受賞者を出した研究現場にも、高い技術力を持つ技術職員が活躍していました。このような環境で、好奇心に溢れ、何事にもチャレンジし、自己スキルを磨くために努力を惜しまない、熱意と想像力に溢れた人材を求めています。

16 大学共同利用機関法人 愛知 自然科学研究機構 生理学研究所

本研究所は、「ヒトのからだ、とりわけ脳の動きを、国内外の大学等の研究者と共同で研究し、若手生理学研究者の育成を行う研究機関」です。生理学の研究は、ヒトのからだの不思議を解き明かすとともに、私たちが健康な生活を送るための科学的指針や、病気の理解や治療法の開発のための基礎情報を与えてくれます。本研究所では、現在の研究対象の中心を脳・神経系に据えています。研究所には技術課が設置され、技術職員が研究教育職員と連携を図りながら、新たな段階となる研究の推進に向けて、それぞれの業務を遂行しています。



<https://www.nips.ac.jp/>
採用担当：自然科学研究機構 岡崎統合事務センター 総務課人事係
☎0564-55-7113 ✉r7113@orion.ac.jp
〒444-8585 愛知県岡崎市明大寺町字西郷中38
DATA：全教職員数（常勤）126名
（うち：事務職員53名、図書職員0名、技術職員25名）
※事務職員数は岡崎統合事務センターの職員数を記載しています。

採用担当者からのMessage
研究教育職員・技術職員・事務職員が密に連携を取り合い、丸となって業務に取り組むとともに、地域社会との連携も行っている、とてもやりがいを感じる職場です。世界でも最先端の研究を行う本研究所では、職員に高い資質が求められています。研究所の一員として協調性を持ち、自己スキルを磨くために努力を惜しまず、何事にもチャレンジする、熱意と創造性に溢れた人材を求めています。

国立大学法人

大学共同利用機関法人

独立行政法人国立高等専門学校機構

独立行政法人国立青少年教育振興機構

国立大学法人

大学共同利用機関法人

独立行政法人国立高等専門学校機構

独立行政法人国立青少年教育振興機構

17 大学共同利用機関法人 愛知
自然科学研究機構
分子科学研究所

本研究所は、分子を軸に置いた科学を展開する中核的研究拠点として、1975年に愛知県岡崎市に設立された大学共同利用機関です。「[分子]についての知識を深め、卓越した機能をもつ分子系を創成する」、「国際的な中核共同研究センターとして、国内外の分子科学研究を先導すると同時に、関連分野の研究者と協同して、科学の新たな研究領域を創出する」というミッション達成に向けて、研究所全体が一丸となって、日々研究に取り組んでいます。研究所には技術課が設置され、技術職員が研究教育職員と連携を図りながら、新たな段階となる研究の推進に向けて、それぞれの業務を遂行しています。



<https://www.ims.ac.jp/>
採用担当：自然科学研究機構 岡崎統合事務センター 総務課人事係
☎0564-55-7113 ✉r7113@orion.ac.jp
〒444-8585 愛知県岡崎市明大寺町字西郷中38
DATA：全教職員数（常勤）138名
（うち：事務職員53名、図書職員0名、技術職員33名）
※事務職員数は岡崎統合事務センターの職員数を記載しています。



採用担当者からのMessage

我々の身の回りには種々の物質の性質や機能を原子・分子レベルで理解する科学、それが分子科学です。本研究所には、最先端の研究を行うための技術的な支援、例えば、実験装置の開発・製作や維持管理などを行う技術職員が配置されています。本研究所技術課では、理工系のバックグラウンドを持ち、好奇心・向上心を抱いて何事にもチャレンジする積極性と協調性のある人材を求めています。

大学共同利用機関法人 愛知
自然科学研究機構
岡崎統合事務センター

本センターは、愛知県岡崎市に所在する基礎生物学研究所、生理学研究所及び分子科学研究所の3つの研究所とその共通施設等の事務を行う組織です。各研究所は最新の設備や大学では持っていない大型施設を有し、全国から研究者が集まって最先端の共同研究、学術研究を行っています。岡崎統合事務センターは共同研究、国際交流、各種会議、人事、会計、施設・設備の面から、最先端の研究を推進するための事務的な支援業務を行っています。



<https://www.nins.jp/>
採用担当：総務課人事係
☎0564-55-7113 ✉r7113@orion.ac.jp
〒444-8585 愛知県岡崎市明大寺町字西郷中38
DATA：全教職員数（常勤）53名
（うち：事務職員53名、図書職員0名、技術職員0名）



採用担当者からのMessage

岡崎にある3つの研究所はそれぞれ特色ある最先端の研究活動を行っており、近年では研究所出身者からノーベル賞受賞者も輩出される等、世界的にも特筆すべき研究成果を挙げています。本センターは、これらの高いレベルの研究現場を支援する、とてもやりがいを感じられる職場です。国際化が顕著に進んでいる研究現場では事務職員にも高い資力が求められるため、他者とのチームワークが取れる力をもち、積極的に物事に取り組むことのできる熟意をもった人材を求めています。

20 独立行政法人国立高等専門学校機構 福井
福井工業高等専門学校

本校は昭和40年に創立された高等専門学校で、5学科からなる本科に中学校を卒業した者を受入れ、5年一貫の技術者教育を行い、創造力と実践力とを併せ持つ開発研究型技術者を育成するほか、本科の上に、より高度な専門知識と技術を教授する2年制の専攻科が設けられ、学士の学位取得も可能としています。本校の教育の特徴として、1学年から専門科目の授業が始まり、学年が進むに従い一般科目の授業時間が減少し、専門科目の授業時間数が増加する「くさび型カリキュラム」や課題解決型学習PBL等があり、さらに地域企業との共同研究・技術相談に積極的に取り組み、産学官連携事業の推進に力を入れています。



<https://www.fukui-nct.ac.jp/>
採用担当：総務課人事事務係
☎0778-62-8202 ✉jinji@fukui-nct.ac.jp
〒916-8507 福井県鯖江市下司町
DATA：全教職員数（常勤）117名
（うち：事務職員26名、図書職員1名、技術職員17名）



採用担当者からのMessage

本校では基本理念及び教育方針に基づき、優れた実践力と豊かな創造性を備え、国際社会で活躍できる技術者を養成しています。事務系職員として教員と協働し学校運営を支え、積極的に行動することのできる次のような方をお待ちしております。
(1)本校の教育・研究及びこれを通じた地域貢献活動を支え、やる気のある志高い人材
(2)社会情勢の変化、教育・研究の高度化に対し、迅速・的確に対応できる人材
(3)多面的な課題の解決に向け、積極果敢に挑戦できる人材

21 独立行政法人国立高等専門学校機構 岐阜
岐阜工業高等専門学校

科学技術に夢を託し、人類愛に目覚め、国際性豊かで、情報化社会の最前線で活躍する技術者の育成
本校は、5つの専門学科（機械・電気情報・電子制御・環境都市・建築）と専攻科（先端融合開発）があり、中学卒業後の15歳から専攻科を修了する22歳までの約1,100名の学生がいます。広いキャンパス、整った建物と設備、少人数教育、多彩なクラブ活動など国立高専ならではの恵まれた環境の下でのびのびと勉学と人間形成に取り組んでいます。平成26年度には、文部科学省教育再生加速プログラム（AP）に採択され、全ての教育へのアクティブラーニングの活用と学修成果の可視化を推進しています。



<http://www.gifu-nct.ac.jp/>
採用担当：総務課総務・企画係
☎058-320-1219 ✉souki@gifu-nct.ac.jp
〒501-0495 岐阜県本巣市上真桑2236-2
DATA：全教職員数（常勤）114名
（うち：事務職員27名、図書職員0名、技術職員12名）



採用担当者からのMessage

本校は、総務課・学生課・技術室に40名ほどの職員が配置され、約半数が20代、30代の職員という若い職場です。幅広い業務を経験することが出来ます。さらに、自分が提案した業務改善や意見等が実現できる、やりがいのある職場です。高専教育は、社会経済環境の変化にとまどない、中堅技術者の育成から、幅広い場で活躍する多様な実践的・創造的技術者の養成が求められています。これからの岐阜高専を共に考え、一緒に行動していきましょう。

18 独立行政法人国立高等専門学校機構 富山
富山高等専門学校

本校は、平成21年10月に富山工業高等専門学校と富山商船高等専門学校の統合・高度化再編によって誕生しました。工学系4学科、人文社会系1学科、商船系1学科の計6学科及び4専攻から成る専攻科があり、多様な教育研究分野を有していることが大きな特徴です。「創意・創造」、「自主・自律」、「共存・共生」を教育理念に掲げ、分野間の連携と2キャンパス間の距離を超えた融合を図って、教育・研究・地域貢献活動を行っています。



<https://www.nc-toyama.ac.jp/>
採用担当：総務課人事事務係
☎076-493-5491 ✉jinji@nc-toyama.ac.jp
〒939-8630 富山県富山市本郷町13番地
DATA：全教職員数（常勤）201名
（うち：事務職員59名、図書職員3名、技術職員24名）



採用担当者からのMessage

本校は、本郷キャンパスと射水キャンパスの2キャンパスを有する統合・高度化再編校です。全国51の国立高専のうち4校しかない統合・高度化再編校の1つである本校では、単に業務を的確に行うのみならず、柔軟性と実行力をもって他の教職員と協働して、より質の高い教育・研究支援や地域貢献を推進していく力となる職員の育成を目指します。

19 独立行政法人国立高等専門学校機構 石川
石川工業高等専門学校

本校は、昭和40年に設立された国立高等専門学校です。基本理念として「人間性に富み、創造性豊かな実践力のある研究開発型技術者育成」を掲げ、5年間の本科、あるいは2年間の専攻科を含めた7年間にわたる一貫教育で、科学技術の発展を支える実践的能力をもつ技術者を養成しています。平成27年には創立50周年を迎え、これまで8,300人を超える卒業生・修了生を輩出してきました。社会に開かれた高専として、地域と協働したまちづくりや環境保全等に取り組むほか、共同研究や技術相談等にも積極的に関わり、地域の発展と産業界の振興に寄与しています。



<http://www.ishikawa-nct.ac.jp/>
採用担当：総務課人事事務係
☎076-288-8012 ✉jinji@ishikawa-nct.ac.jp
〒929-0392 石川県河北郡津幡町北中条
DATA：全教職員数（常勤）114名
（うち：事務職員24名、図書職員2名、技術職員15名）



採用担当者からのMessage

21世紀に入り、世界は大きく変化しています。これに対応するため、教職員が創意工夫を凝らし、より一層協力して新しい取り組みにチャレンジしていく必要があります。また、学生にとって高専で過ごす期間は、一生のうちで身体的にも精神的にも大きく成長する時期であり、心豊かな人間形成を促すため、勉学上だけでなく、さまざまな場面でのサポートが必要となります。本校の理念に共感し、一緒に取り組んでいただける人材を求めています。

22 独立行政法人国立高等専門学校機構 静岡
沼津工業高等専門学校

「人柄のよい優秀な技術者となって世の期待にこたえよ」
本校は、富士・箱根・伊豆という有名な観光地に隣接している沼津市に、国立高専の第一期校として昭和37年に創設された高等教育機関です。本校は、初代校長の遺訓である「人柄のよい優秀な技術者となって世の期待にこたえよ」の教育理念の下、ものづくりの基盤技術を支える実践的で創造性に富んだ技術者の養成を目的としています。また、企業の技術者を対象とした人材育成事業、地域企業との共同研究や技術相談などにより、地域や企業との連携を積極的に推進しています。



<http://www.numazu-ct.ac.jp/>
採用担当：総務課人事係
☎055-926-5713 ✉jinji@numazu-ct.ac.jp
〒410-8501 静岡県沼津市大岡3600
DATA：全教職員数（常勤）126名
（うち：事務職員32名、図書職員0名、技術職員15名）



採用担当者からのMessage

本校は、大学に比べると小規模な機関のため、同僚や上司だけでなく教員や学生との距離も近く、アットホームな雰囲気の中、お互いが協力して業務に取り組んでいます。また、事務組織は担当部署が細分化されていないため、職員1人が果たす役割は大きく、広い視野が必要になります。それゆえ、柔軟な発想を持ち、周囲と連携しながら、何事にも前向きに取り組むことができる方を求めています。

23 独立行政法人国立高等専門学校機構 愛知
豊田工業高等専門学校

本校は、「真理を探究し、開拓の精神をもって、日本工業界に寄与し、進んで人類の福祉に貢献する」という創立の精神を基に、昭和38年4月に設置され、平成16年4月に独立行政法人国立高等専門学校機構の設置する学校となりました。「科学」「技術」「技能」の調和が取れたモノ作りのための実践的・体験的教育を目指すと共に、世界に通用する国際性や他人を思いやる事ができる人間性を備えた実践的技術者の養成に力を注いでいます。また、地域社会と連携し、地域企業のリーダー技術者、次世代の創造力豊かなものづくり実践技術者の育成に力を入れています。



<https://www.toyota-ct.ac.jp/>
採用担当：総務課人事事務係
☎0565-36-5903 ✉jinji@toyota-ct.ac.jp
〒471-8525 愛知県豊田市栄生町2-1
DATA：全教職員数（常勤）117名
（うち：事務職員30名、図書職員0名、技術職員14名）



採用担当者からのMessage

本校は、大学と比べ組織は小さいですが、小さいのりの良い点としては、様々な業務（大まかに総務系、会計系、学生系）を経験することができることです。一人ひとりが固定観念に囚われない柔軟な発想や向上心を持って業務に取り組むことが重要となります。本校では、柔軟な発想を持ち何事にも積極的に関わっていただける方を求めています。

24 鳥羽商船高等専門学校

本校は、伊勢志摩国立公園の中心鳥羽市に位置し、全国高専の中でも5校しかない商船学科を有する高専の1校であり、明治14年に開校した鳥羽商船を前身とする130年余の歴史と伝統ある学校です。



- 1. 人間性豊かな教養人となること
- 2. 創造性豊かな技術者となること
- 3. 国際性豊かな社会人となること

を教育目標に掲げ、豊かな人間性形成のための教養教育と技術者養成のための職業に必要な実践的かつ専門的教育を行い、数多の卒業生が船舶職員や工業技術者として、社会の多方面にわたり活躍しています。

<http://www.toba-cmt.ac.jp/>
採用担当：総務課人事労務係
☎0599-25-8012 ☐soumu-jinji@toba-cmt.ac.jp
〒517-8501 三重県鳥羽市池上町1-1
DATA：全教職員数（常勤）96名
（うち：事務職員25名、図書職員0名、技術職員11名）



採用担当者からのMessage

51校の国立高等専門学校は、社会経済環境の変化に対応した国立高専の改革が求められており、職員は高等教育の充実・発展を推進する学校運営を支えていくプロ集団として、期待されています。その期待に応えられるよう、本校では、固定観念にとらわれず、何事にも柔軟に対応し、前方支援である企画戦略から後方支援である定型業務まで様々な業務を自ら考え、努力を怠らない積極的な人材を求めています。

25 鈴鹿工業高等専門学校

本校は昭和37年に国立高等専門学校の第1期校のひとつとして創設されて以来、有能な実践的技術者を育成し、地域と社会に貢献してきました。高専機構が文部科学省の協力を得て行うロボット人材育成事業の拠点校としての活動や、情報セキュリティ人材育成事業の実践校にも指名されるなど、時代の先端を行く技術者を育成するという使命を背負い、教職員一丸となって頑張っています。全国国立51高専のトップランナーとして、地域に根差し世界に羽ばたくクリエイティブな人づくりを目指しています。



<http://www.suzuka-ct.ac.jp/>
採用担当：総務課人事給与係
☎059-368-1712 ☐jinji@jim.suzuka-ct.ac.jp
〒510-0294 三重県鈴鹿市白子町
DATA：全教職員数（常勤）116名
（うち：事務職員25名、図書職員0名、技術職員16名）



採用担当者からのMessage

本校は大学に比べて職員数40名程の小規模な機関です。それゆえ若くして多様な分野の仕事を経験する機会に恵まれ、これまで培った経験、専門性や能力を十分に発揮できる可能性に富んだ職場です。また、職場環境は非常にアットホームな雰囲気、周囲と協力して仕事を行っていく上で、きっと働きやすい職場だと思います。今後更なる発展を目指している本校で、私たちと一緒に日本の将来を担う技術者を育ててみませんか。

28 国立若狭湾青少年自然の家

若狭湾国立公園の中央に突き出た田島半島の一角に位置し、豊かな海山の恵み、東アジアとつながる歴史・文化の玄関口である若狭湾で「海の道 若狭湾」の理念を掲げ、体験活動を通して次代を担う青少年のたくましく健やかな身体と、健全な心の育成を目指す青少年教育施設です。

前面にはリアス海岸特有の美しさを持った雄大な若狭湾、背面には標高300メートルの起伏に富んだ山並みが広がっています。このような自然あふれる環境を活かし、カッターやスノーケリング、シーカヤック、水泳などの海洋活動と、四季折々の見事な景観を味わうことのできるハイキングやオリエンテーリング、グリーンウォッチングなどの山活動を行っています。

また、利用される学校や団体、家族、企業等が安全で充実した活動が行えるような研修支援、青少年の現代的課題に対応した教育事業の実施や研究、指導者養成研修等を行っています。



国立若狭湾青少年自然の家
マスコットキャラクター「トビ」



<https://wakasawan.niye.go.jp/>

29 国立乗鞍青少年交流の家

当施設は、北アルプスの秀峰乗鞍岳を背景に四方を白樺林に囲まれた標高1,510mの乗鞍高原に位置しています。恵まれた自然環境の中で自然体験を通して、豊かな心とたくましい体をもつ健全な青少年を育成することを目的として、昭和49年に設置された青少年教育施設です。開所以来のスローガン「自然と語ろう」を日々実践しています。

夏はウッドチップコースを整備した高地トレーニング施設として陸上競技団体の利用も多く、また冬は隣接する飛騨高山スキー場（高山市営）を利用するスキー研修団体の利用も多くあります。さらに歴史と伝統のある古都高山市の文化的環境に触れる機会や、上高地、世界遺産の白川郷まプログラムに入れて研修を行うことも可能です。

これまでの利用者は、延べ540万人余り（令和元年10月末現在）を数え、豊かな生涯学習社会を築いていくための社会教育の充実や、次代を担う青少年の健全育成といった重要な課題への対応を責務として、青少年に豊かな生活体験などを提供する場として大きな使命を担っています。



<https://norikura.niye.go.jp/norikura/>



26 国立立山青少年自然の家

当施設は、富山県立山町芦峯寺にあり、北アルプス立山連峰のふもと、標高600～700mの不動平に位置しています。周辺一帯はミズナラ、クリを主体とした広葉樹の自然林や整然とした立山杉の人工林に囲まれ、活動エリア内には国の天然記念物である二ホンカモシカをはじめとする多くの野生生物が生息しています。

600mm望遠鏡やプラネタリウムを用いた星空観察や、来拝山、大辻山登山ができるほか、周辺には雄山神社や立山カルデラなどもあり、豊かな自然体験学習や歴史文化遺産の学習など、多様な体験学習ができる恵まれた環境にあります。

当施設は、こうした素晴らしい環境を活かし、次代を担う青少年に自然体験など様々な活動を体験してもらう教育事業を実施しており、また、自然体験指導者やボランティアの養成、不登校等課題を持った青少年を支援するプログラム開発など、青少年の健全育成を図ることを目指しています。



国立立山青少年自然の家
マスコットキャラクター「トントン」



<https://tateyama.niye.go.jp/>

27 国立能登青少年交流の家

当施設は、昭和47年に国立第8番目の国立青年の家として能登半島の入り口に当たる羽咋市に設置された青少年教育施設です。恵まれた自然環境の中で、交流体験や共同生活などの体験活動を通して、「心豊かなたくましい青少年」を育成することを目的とし、利用者に多様な活動を提供しています。学校団体を中心とする施設利用者は、敷地内にある池などを使ったカッター、カヌーやいかだ体験などの自然体験活動、キャンプ場での野外炊飯、近くにある柴垣海岸特有の細かい粒子の砂を使った砂像づくりなど、非日常的な体験を通して、たくさんの「感動」を味わうことができ、更に集団での宿泊体験によって、協調性や自主性などの「生きる力」が養われます。

また、自分の限界に挑戦する移動型長期キャンプや児童生徒の発達段階に応じた課題に対応する教育事業など効果的かつ特色ある事業の企画・実施も行っていきます。なお、最近では大学のサークルや企業の長期研修でも利用されています。



国立能登青少年交流の家
マスコットキャラクター「ヒノビ」



<https://noto.niye.go.jp/>

30 国立中央青少年交流の家

『体験活動を通じた青少年の自立』

世界文化遺産の富士山を間近に望む当施設は、当時の皇太子殿下（現天皇陛下）の御成婚記念事業の一つとして、1959年（昭和34年）に富士山の東麓にある静岡県御殿場市に開設された我が国最初の国立青少年教育施設です。首都圏や中京圏からも近く、年間20万人に利用されています。「体験活動を通じた青少年の自立」を教育理念に掲げ、様々な体験活動の機会を提供し、青少年一人ひとりの成長・発達を促し、その自律と社会性の涵養を目指しています。

こうした教育目標のもと、豊かな自然環境と充実した研修室・スポーツ施設・野外活動施設を活用し、青少年の現代的な課題に対応した教育事業、全国の青少年指導者の研修事業、海外の青少年との交流事業などを企画・実施しています。

また、小・中学校や高等学校などが実施する集団宿泊活動、大学生のゼミ・サークル活動、青少年団体・グループが行う自然体験活動や交流活動等が成果のあるものとなるよう支援し、日常生活では必ずしも得ることのできない体験活動の機会を提供しています。



<https://fujinosato.niye.go.jp/>

東海・北陸地区 国立大学法人等 職員採用試験実施委員会 Webサイト



<http://www.sssj.jimu.nagoya-u.ac.jp/>
試験情報、説明会情報など、最新の情報が満載。

ぜひアクセスしてみてください！
@shikenjimu
東海・北陸 職員 検索